



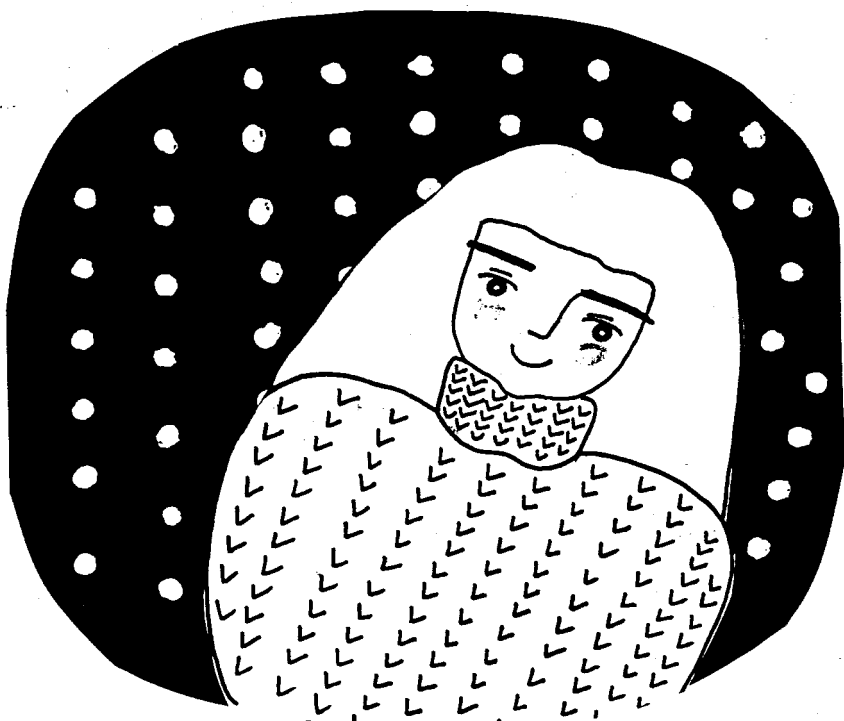
緊急AGORAZEIN

続 天皇報道に驚く..... 3

井田 恵子 駒野 陽子
堂本 暁子 布施 優子
増田れい子 岡田 佳子ほか

消費税のふしぎ 40
年賀状から 近藤悦子ほか 42
女のつとめ 2

今月の編集は〈東京・事務局〉 138号 400円



日	時	テ	マ	主	催	者	会	場	・	連	絡	先
2月11日(土)		紀元節に元号を考える映画と講演のつどい	(沖繩労働者の会)				電通生協会館(JR駒込)					
2月12日(土)	13:30	緊急シンポジウム・原発の正しい止め方	(実行グループ・ハイロ)				大阪市民ホール					
2月15日(水)	18:30	教科書問題を考える市民の会	81回月例会集				国民文芸会議室					
2月17日(金)	18:00	ボルノは女への暴力だ	(東京・強姦教授センター)				日本YMCA(JR市ヶ谷)					
2月17日(金)	18:30	日産の家族手当裁判不当判決抗議集会					東京都労働福祉会館6階					
2月17日(金)	6:30	(あごら)東京地区例会、新年号合併会					あごら読書室					
2月17日(金)	18:00	出生差別の法改正を求める女たちの会					新宿区立婦人情報センター					
2月19日(日)	18:00	「バクとマサルのイラストノット脱原発しかない」出版記念パ					学士会館ホール(JR神保町)					
2月20日(月)	18:30	(男女差別をなくする愛知連絡会)例会・検証、まる3年の均等法					名古屋市婦人会館					
2月22日(水)	10:00	平成元年度・国の婦人関係予算案を聞く会					婦人会館(JR代々木駅)					
2月23日(木)	18:30	その前夜に語ろう・アジアから見た天皇制	(婦人民主クラブ)				中野区勤労福祉会館					
2月24日(金)	18:00	性の自己決定権と性的自由自立とは?	(東京・強姦教授センター)				日本YMCA(JR市ヶ谷)					
2月24日(金)	18:00	(あごら松山)おんな講座パート1・小倉千加子・女から現代を読む					愛媛県婦人総合センター					
2月24日(金)	14:00	自立の心理学・自立と天皇	(あごら可能性教室)				(あごら)読書室03135413941					
2月24日(金)	10:30	2・24服喪につきあわない会	(市民ネットワーク)				名古屋国鉄会館					
2月25日(土)	13:30	シンポジウム・離婚後の養育費	(日本弁護士連合会)				日本弁護士連合会					
2月28日(金)	10:30	もっと自由に生きるためのセミナー	主婦・ひとり暮らしへの準備				(東海BOC)スペースウイン					
3月3日(金)	18:00	つぶせ!・強姦神話	(東京・強姦教授センター)				日本YMCA(JR市ヶ谷)					
3月4日(土)	13:30	緑の復興に向けて・傷ついた地球の現状を訴える					日本国際ボランティアセンター					
3月4日(土)	13:16	楽しくやろう夫婦別姓	(夫婦別氏の法制化を実現する会)				渋谷区勤労福祉会館03146212511					
3月5日(日)	10:00	国際婦人デー第4回あなたがたの女のフェスティバル					京都市社会教育総合センター					
3月8日(水)	14:00	(あごら長野)発足の集い・斎藤千代さんを囲んで					スペース文珠(県民文化会館横)					
3月10日(金)	19:00	公開・日本文明講座15・外国に単純労働者を囲んで					黄桜書院日本語学校					
3月11日(土)	15:00	「留置場・女たちの告発」出版記念	(愛と人権フォーラム)				早稲田奉仕団					
3月30日(木)	18:30	海外協力を考えるタペ・アフリカで考えたこと	(こった煮地球なべ)				大塚会館(丸の内線茗荷谷)					
3月30日(木)	19:50	ピースポート'89・日本一周クルーズ	(あごら)学習会天皇問題を考えるⅡ女性と天皇制				新宿区立婦人情報センター(曙橋)					

続 天 皇 報 道 に 驚 く

井田 恵子 (弁 護 士)

芦沢 礼子

岡田 佳子

駒野 陽子 (元 教 師)

池田千鶴子

大島ふさ子

堂本 暁子 (T B S)

桑原ちゑ子

斎藤 千代

布施 優子 (N T V)

菅 景

高宮 弘子

増田れい子 (毎日新聞)

竹内 全子

中村 宏子

Ⅱ 私にとっての天皇

映像が見せた

“天皇制”

斎藤 マスメディアについて、あれこれ申し上げましたが、今回、映像がいろんなものを見せたというメリットはありましたね。私も普段は、天皇誕生日などで皇室の内情が放映されても見ないけれど、今回は皇室の内部を知ろうということで、よく見ました。

発見したことの一つは、子どものときに、ギョメイギョジという言葉が暗記させられましたけれど、今度その御名御璽というものが初めてわかったんです。裕仁というのが紙の上のほうに書いてあるでしょう。そして、その下に御璽が捺さされる。どうしてあんなに上のほうに……と思ったわけ。普通ならば、文章の次の行の下に名前を書いて、判は行の一番下になる。だけど「裕仁」は行頭と同じ

高さ、そのすぐ下が御璽。これは地位を標榜しているわけですね。裕仁が与えるぞ、という。

堂本・駒野・増田 「教育勅語」も上に書いてあったわね。

斎藤 私は頭が悪くて覚えてなかったの。で、今度実物を見て初めてわかりました。そして、なんでこれが象徴天皇なんだろうと思いました。象徴ならば、署名をしたりハンコを押したりする必要があるんでしょ。うか。まさにロボットじゃないですか。満洲国皇帝の傳儀さんと少しも変わらない。

増田 それだったら自分から降りたらいじやないですか。降りられないとか、辞められないとかいうけれど、辞めればいいんですよ。

大島 年寄りの楽しみみたいなものがないかな。でしよ。

斎藤 ほんとに楽しかったのかしら。

苦しいから生物学に逃げたという説もありますね。就職の自由もない。任期もない。死ぬ自由もない。

増田 する自由がなかったんじゃないんですか。ほんとの人間だったら、あんな位置に留まれるはずがないです。

斎藤 戦争前の私たちはああいうふうだったから私たちの世代の人間にはわかりますね。私たちは学徒動員って言われたらたちまち勉強やめて弾作りさせられて、それが当たり前と思ってそこを出ようなんて思ってもみなかった。私、敗戦後になにかの雑誌を見て涙をボロボロ流したんだけど……パリのノミのサーカスの話なんです。ノミがなぜサーカスするのかっていうと、ガラスの中に入れられると、否応なしにその中で跳ねまわるんだって。ああ、私たちはノミだったなあ……。

私たちは幸いにしてガラスの外に出る機会を得たけれど、天皇はどうとうガラスを壊せなかった。考えもしなかった。

井田 やはり、教育されてるでしょうね。

駒野 すごく怖ろしいことだと思う。教育ってああいうふう人間を作るのよ。斎藤 「私は戦争の責任者だ」っていうことも言えない。言論の自由がなかった。増田 「戦争を起こしたら戦争責任者である」というような教育がされてなかったんですよ。

斎藤 言ったら大変なことになるっていうものすごい圧力もあった。

駒野 へたなことを言うとな人の迷惑になるということを徹底的に教えられたんですね。

すでに始まった 「元首化」の動き

増田 天皇制というものは天皇制を批判させなかったのよ。ちょっとでもやると不敬罪ですからね。誰が天皇になってもあんなふうに生きてしまおうし、天皇制を批判したらすぐに血祭にあげるということが付随してきたわけです。だから、こういう制度というものを、人間

社会は作っちゃいかなと思えます。作るとこうなるんですよ。それになった人は、人権を完全に剝奪されてしまおうし、同時に私たちもまた、人権を剝奪され、戦争にも行かなくちゃならない批判したらすぐやられちゃう。天皇制っていうのは、すべての人権を剝奪する機構なんですよ。ね。

堂本 今、不敬罪はないかもしれないけれども、違った形であるんですね。一同 ありますね。批判したらいたたまれなくなる。

井田 不敬罪復活ということは事実上あり得ますね。これから始まるいろんな儀式の中で元首化が現実に行っていくと思います。皇室外交もどんどん始まっているでしょう。元首化の動きが出ている。すでに元首みたいになっている。私たちが歯止めをかけていかないとほんとに元首になってしまおう。元首になると、批判したりすると刑罰ができる。元首に対する誹謗ができなくなる。

駒野 英国の王室はどうですか。

井田 不敬罪っていうのはないんじゃないですか。

増田 日本は不敬罪のあった国ですから容易にそこに戻っていく。

斎藤 もう一つ不安になるのは、いま本當に怖いのは天皇じゃないのではないかということね。天皇をコントロールする力を持っている国会を取り締まるものがないでしょう。あんなにもすごいことをやっても、私たちには解散させることができない。

リコールは要求できるんですか。

井田 運動として、それはできますよ。

増田 現実には無理ですけどね、数の問題ではね。

井田 議員をリコールすることはできません。

斎藤 国民の署名を集めて……。本當に主権在民なら国会の解散権を、天皇や首相じゃなくって私たちが持つてゐるはずでしょう。

井田 ただ、国会における代表者を通じて行動し、という建前があります。

斎藤 だから、誰が国会をコントロールするのかということですね。怖いのは、国会をコントロールする選挙がコントロールされているということ。

労組にさえある

”天皇制”

大島 突きつめていけば、日本人が墮落したんじゃないか、と思うの。どんなに突だと思つて、女の人たちががんばつてみても、こういう話をしたりするのはわずかの人はすよね。大半の人は逃げてるんです。これはもう、日本人そのものが、精神的に墮落してしまつていて、あのリクルート疑惑を何にも感じないような状況ができてしまつてゐる。

駒野 なつてきた、というよりか、自分たちは主権在民だつていうことがよくわかつてないのよ。自分たちが何かすれば政治は変えられるということを知らないのよ。

増田 天皇制のもとではそうなつてしま

うのよ。

斎藤 諸悪の根源は天皇制だけなんですよ。か……。

駒野 天皇制の歴史が日本人を規制してきたということは確かだと思いますよ。

少なくとも、旧憲法と今の憲法の歴史の長さはほぼ同じであるにも関わらず、旧憲法のほうが影が重たいというのはどういふことなのでしょう。

井田 教育が変わつたのもちようと同じ頃ですよ。

駒野 教育に関して言えば、教える内容は神話型の歴史を教えずにはなりませんでしたけれど、学校のもつてゐる体質は全く変わつてゐないの。教育委員会が任命制に戻つたあたりから学校というのは、明治と今と全然変わつてなくて、おそらくあらゆる日本の社会の中で一番昔と同じ形態が残つてゐるのは学校ではないかと思ひます。

斎藤 むしろ悪くなつてゐるのでは。昔の先生は無私というか、ピューリタンふうのところがあつたけど、今の先生はそ

うでもないし。

駒野 先生が一段上の所にいて管理して支配しているところが明治の初めと全く同じなんですよ。権力者が支配する構造を天皇制というならば、学校に一番天皇制が残っているかもしれない。いくら君が代を歌わないって反対運動をしなくてもね。

増田 家庭の中にも天皇制がある。

駒野 労働組合にもある。

斎藤 たとえば労働次官にしろ文部次官にしろ、次官室で取引きしているのを職員が知らないわけじゃないと思うの。それを告発できない労働組合というのはなんなのか、と思うわ。

増田 権力を持っている人がやることはすべて許容してしまうんですよ。一番偉い人は何をやってたていい。力のある人を許すのよ。

斎藤 権力を許すというより、自分の損になることはしないのでは。

増田 何か言って批判されたら自分が損をするっていうことでしょう。それより

以前に、自分より地位の上の人のすることとはハイハイしてきくっていう、そういう精神構造が非常にキッチリできているんじゃないかな。

この機会にこそ

“天皇”を問おう

堂本 ヨーロッパに行って一番驚くのは、自分たちの納めた税金は自分たちのために使われるのが当たり前だと信じているから、税金が上がっても、これこれのために要るのだと言われれば、それが自分に返ってくる、とみんなが信じているところね。

消費税をやられちゃったら、どう使われるかわからないから税金を絶対たくさん払いたくないと私たちが思いこんでいるのは、政府を信用してないわけね。その制度を自分たちが選んでいるわけだけど、信用できるような政治を自分たちは作れないと思ひこんじゃってる。なにか不祥事、たとえば、ロッキード事件があ

っても、そのあと自民党の支持がドドッと落ちたかというとなんかしたことないでしょう。田中さんなんて人は過去二十年くらい国会に出てこないで議員が続いている。ああいうのを見たら、政治を自分たちの力で変えられるなんて幻想としか思えないんじゃない。

斎藤 そしてまた大赦なんかがあつて選挙で不正を働いたような人がカムバックする。

増田 選挙違反が一番お目こぼしがありそうですね。

布施 自民党としては選挙違反者を一番救いたいんですね。

斎藤 私たちにまずできるのは「大赦反対運動」ではないかしら。それと、12・19集会で井田さんが指摘なさったように、天皇の権能をコントロールするのは国会だということ。国会にそれだけの自浄作用があるか、——自浄どころか汚染作用しかないんだということをマスメディアは書きたててほしいし、その仕組みをもうちよつと徹底的に追求してほしい。

踏みにじられてもなんとも思わない人たちの目が覚めないと……。

増田 いま日本を取り仕切っている企業やマスコミの中核で働いている人たちがというのは、全然、はじき出されたことのない人たちなんですね。エリートコースを歩いてきて、最後は天皇に勲章をもらう人たちなんですよ。すでにもらった人たちもあるし。天皇制によっていろいろなプラスをいただきたい人々が中核を握っているんですよ。だから自分たちのほうからはなかなか変わらない。そういう人たちに天皇制その他いろいろ非民主的なことをアピールしてもなかなかわからないんだねえ、土台わからないと書いてもいい。

井田 天皇の国事行為の一つに栄典の授与というのがありますね。叙勲ですね。

斎藤 これも、天皇はロボットとして利用されてるわけでしょう。御名御璽、それで箔をつけて、「ありがとう」と。

増田 民主主義の社会に天皇というものが要るか、要らないかっていう根源的な

問題を問わなくてはいけない。それから、象徴天皇制というのが、本当に憲法と両立するのか、そのあたりは、これからきちんと考えていかないといけないと思います。

一同 そうですね。

井田 象徴天皇ならいいじゃないかというところで、今までさっぱり議論がなかったんですよ。

増田 社の中ではもちろん今キャンペーンしなくちゃ、と考えています。いかに象徴天皇であろうと、天皇と憲法はどういうふうに矛盾しているのか。しないためにはどうしたらいいのか。そういう根源的なところを突き詰めていかなければダメだと考えています。

駒野 マスコミに一番お願いしたいのは、今これだけ大々的に天皇コマーションをなさったのだから、これでおしまいにしないで、みんなが関心を持ったところで、必要なことを息長く、まじめな企画で継続的に報道してほしいなあと思います。私たち自身もそうです。私たちも、天皇

制を避けて通ってきたのを、これからは折があればこういうかたちで議論を続けていきたいということ。誰でもできることっていったら、平成という元号は一切使わなくても苦になりませんものね。こんなより一九八九年の方がいいわよっていうかたちでやっていくことだと思います。

堂本 今はまさにチャンスだと思っていますね。今日も社の若い人たちが、二月二十四日の大葬のあとにはぜひ批判的な番組を出したいって言ってましたし、この二日間（一月七、八の二日間）我慢してた分が弾け出す……。まあどの程度出せるか、それに対してどういう世論が出るか、楽しみです。

憲法改正運動は慎重に

井田 今までタブー視してきた理由の一つは憲法改正が怖いということもありま

した。九条のからみでね。あんまり有害ではないと思つて目をつぶつて、害のことをよく考えなかった。それで黙つていたところはあるでしょう。憲法擁護という観点からです。でも、擁護というのは押されたのをそこでがんばつて抵抗しているだけなんだから、もっと切り開いていかないと。

齋藤 憲法改正運動を積極的に起こしてもいいように思います。

井田 いえ、それは見通しの判断が難しいですから。つまり向こうは改正を待っているんだから。

齋藤 たしかに一步前進して五歩後退するような歴史がありますね。

井田 だからどうやって、裾野を広げていくかですね。

堂本 でも、少なくとも、今の憲法で私たちが支持するのはこの部分で、支持しないのはこの部分だつていう議論ぐらいしたつていいじゃない。

一同 それはいいわよ。

齋藤 それと並行して、普通の八〇%の

人たちに一番わかりやすいのは、「天皇を人間にしよう」つていう運動だと私は思うんだけど。

増田 しかしすでに一ぺん人間宣言してますからねえ。

齋藤 この百十一日の間、「自分の親だったらああいうことをされたらたまらねえ」という思いは庶民の間にありましたよ。「くず湯が飲みたかったら飲ませればいい。お相撲見たかったら見せればいいのに。あんなことまでして生かせたことはないね」と。最後の最後まで彼には自己決定権がなかったことを、まざまざと見せつけられた。あれはおかしいんじゃないかという訴えかけは、誰にも伝わるのではないかと思うけれど。

井田 それは一つの方法ですね。

大上段に「反天皇制」を打ち出すのと、両方ありますね。

増田 「天皇つて和歌がうまいのねえ」つて感心する「良き庶民」がいるからねえ。

堂本 「お言葉」なんて言うのね。

増田 要するに天皇という人がいかにすばらしい人であるかと思いたいんですよ。そのまやかしを自分の中から捨てると私は言いたい。自分の上に位置づけられた人が神さまのように間違いない素晴らしい人だと思いたいのは、人情としてはわかるんだけど、それは違う。

大島 天皇制批判の仲間と、天皇制を打倒したら、また新しい天皇制ができるんじゃないかって、話したら、若い子が言いましたよ。その後何が出てくるか楽しみです。

岡田 押さえつけられたことがないでしょう、私たちの世代は。押さえられた苦しさがないから、ヒットラーでもいいし誰でもいい、だけど、何があるのかな、という軽い気持ちなの。でも本当につきつめていけば、自分たちが今一番欲しい自由をなくしてしまつて、ひょっとして、女も体格がいいから戦争に行けつていふうになつちゃつて、自分が弾に当たつて死んでしまうかもしれないと思うところまで考えてないんですね。

私が一番嫌だと思ふのは、戦争になつて、自分が戦場に駆り出されて殺したくない人を殺したり、自分の子どもを死に行かせるようなこと、最低それだけはやりたくないと思つてゐるんだけれども。カッコイイとか言つてゐる人が「じゃあ、あなた明日から前線に行きなさい」つて言われたら、洗脳されていればできるでしょうね。洗脳されちゃう歴史が今までの歴史だと思ひます。私たちは学校でもこのへんのことを習つてないんですよ。明治を、最終学年の三学期に教へてもらへばいいほうで。たいてい、中学、高校と進学がありますから、授業でやつても本の下で数学かなんかやつていて、社会科なんてやらないんですよ。また、先生も教へられないし……。私ぐらいの年の人が先生になつて社会科を教へるわけですからね。

井田 歴史もだんだん長くなって初めのほうからやつてきてると間にあわなくなる(笑)。

岡田 江戸時代くらいまでやると先生が

今年はよくやつたなんて言つてますよ。

駒野 現代を勉強しない。近代史をやらないうつていうのは問題ですね。それができる場所が「現代社会」だったのが、今度選択になつてしまつたでしょう。

芦沢 そこらが一番抜けてゐるのはエリートの人。そのへんは入試に出ないから。

岡田 現代社会の勉強をしなくても大学に入れるし、大学に入つて自分の専門をやつちゃえば社会なんてやらないし、テストに出ないから関係ない、いいやつて。そういう人が文部省の官僚になつて教科書を作つてゐるでしょう(笑)。教育委員会を牛耳つちゃつて。

増田 だから家永さんもああいう目にあうわけですね。

駒野 反対に現代史から教えるつていう国もあるのよね。中国なんかそうだわ。

今も残る

強固な「お上意識」

堂本 私は去年は本当に長く外にいてア

ジアにもずつとしました。私なんかは戦争を経験してきましたから、空襲の時に弾がもつちよつとこつちにずれていたら死んでいたんじゃないかと思ふんですけど、そういう人間がアジアに行つてこちら側を見ると、すごく感じる感じがいっぱいあるんです。みんな、だれが殺されたとか、すごく覚えてゐるんです。たまたま教科書問題の時、私は北京にいて盧溝橋に行つたわけ。そしてインタビューすると、普段はなんにも話さない中国人の方々が、「夫はこういうかたちで殺された」とか「南京から歩いてきたら、どういうことが起つた」と、みんな口々に言つてゐる。やはり戦場になつたのが中国で、こちらは侵略していったんだというのを改めて感じました。フィリピンに言つても同じ経験をしていました。日本はあるとき天皇を頂点としての、お上という意識の下にみんな戦争のほうへワフワフと行つたでしょう。お上意識から抜けだすチャンスがないまま、日本人は戦争を終えてしまつたという気がします。

今度の報道のなかで面白かったのは、マッカーサーと天皇の出会いのくだりを何度も出していましたが、マッカーサーが天皇に非常に感銘して、天皇に巡幸なり何なりあちこち行ってくれと、吉田茂経由で伝えて、天皇は苦手なだけれどもデモクラシーのようなふりをした。すると、マッカーサーは逆に、こもってしまつて、六年間いっさい外に出なかつたんですね。つまり彼が日本化してしまつた。天皇みたいな生き方をマッカーサーがした。だけど、あの二人の出会いによつて日本の占領政策というものは非常に大きな影響を受けたと、アメリカ人も言っているわけです。そのときに「お上」という考え方に、占領していたアメリカさえも、どこかで影響されていた（笑）。この「お上」意識というものが、ずっと変わらないまま受け継がれてきているんだと思います。当時は戦争という形でアジアへ出て行つたんだけど、今は経済戦争で出て行つてゐる。その構造は変わっていない。さつきから国会の話が出て

いますが、私は国会・財界・天皇と一つのヒエラルキーがあつて、これが戦争のときのピラミッド型と全く同じだと思うんです。お上はいい人だと思いたい。お上に屈服しちゃうっていうのにそっくりで、それが企業の中、マスコミの中、あらゆるところに上志向、そこに決定権を委譲して、それに従うことをよしとする体質がこの百年間続いているのでは、と思います。

増田 天皇は悪いことをしない。どんな悪いことをしても悪いことをしていないんだと考える。

堂本 つまり、人権とか個というかたちで自己を確立していくという歴史がないんです。これをどうやってこれから捉えていくか。さもないと、本当に日本は世界の中でおかしな国になつていつてしまいますから。

斎藤 おっしゃるとおりですね。経済戦争も戦争と同じですね。頂点に天皇を置いてヒエラルキーを成立させている。司馬遼太郎さんが「太郎の国の物語」って

番組で、「日本は今や悪太郎の国だ」っておっしゃってましたね。

天皇の名の下に 私たちも侵している

増田 メディアは、戦後の成長まで天皇のおかげだなんていうことを書くんですからね。よく言うわつて思いますよ。私は天皇に言われてがんばつたんじゃないもの。

堂本 そういう言い方はどんなにされていきますね。そのためにどのくらいアジアが犠牲になつてゐるかわかつてない。資源をこわし、人を歪め……。

斎藤 今や企業が天皇だ。ということをごまかすために、天皇を誉め讃える。

天皇隠れの中で戦争したのと同じように、天皇隠れの中で経済侵略をするわけでしょう。だから、天皇隠れの構造がわかる報道ができたならなあ、と思います。

増田 天皇は悪くない、まちがわれない、平和主義者、繁栄をもたらした……。そ

う言われると、日本人はみんな自分を肯定していくわけです。俺は別に悪いことはしていないという感覚になっていった、人を傷つけてるとか困らせてるとか苦痛な目に会わせているということを感じなくなるんですよ。天皇制は自分日本人そのものを墮落させ、作りかえて、神がかりにしてしまふ、非常に有効な装置なんです。

堂本 やはり精神的荒廃だと思えますね。人間の尊厳とか基本的な理念といったものをどこかにスコーンと捨てて、考えないんです。一人一人のそういったものがトータルとして出てくるんですね。

「水に流す」日本人

布施 マスコミの側の無神経というか、よく考えてないと思ったのは、竹下首相の謹話というものがありませんでした。」「望まざる戦争を、お心ならずも……」というくだりがあった。

一同 あれはひどかった!!

布施 あれを私たちは聞き逃しているんです。マスコミの側も。私の記憶では、たしか毎日新聞だけが、その点を指摘していました。が、他の新聞やテレビは多分していないんじゃないでしょうか。韓国の新聞が「日本政府は公式に天皇の戦争責任はないと認めた」と書いていたんでびっくりして、ああそういうことなんだ、と初めてわかる。

増田 天皇の戦争責任は問わないということは、敗戦のときにアメリカと日本の間で取り決めてあるんですね。だけど私たちはそれを認めないということは言わなきゃいけないですね。

井田 ドイツではナチスの戦犯の時効をどんどん延ばしていった、結局永久戦犯にしている。

堂本 ドイツ人はいまだに戦争責任をきちんと受けとめようとしているように思えますね。

駒野 彼らはヒトラーやナチスだけのせいではなく、それをひき起こしたドイツ人全体の責任だと自覚しているんですよ。

布施 日本人はみんな被害者になっちゃった。天皇におつかぶせて、で、水に流した。

増田 そういうふうになるから、みんなが退廃するんです。

駒野 神道的な考え方のね。人形（ひとがた）なんか川に浮かべておしまいになっちゃうような。

布施 みそぎは終わった……って。

井田 いま、政教分離の原則がうんと崩れちゃって昔のような状態が復活しているでしょ。あれをどうしても問題にしないといけない。今度、大嘗祭がありますね。即位の際にする一世一代の大きな新嘗祭です。秋のころにやるんだけど、新しくできたお米を天皇が食べる。神と一緒に食べることに、って食を共にする。もう一つは、寝も共にする。袋の中に入って神と共に寝る。秘儀になっているんだけど、天皇が神と寝食を共にすることによって、神と人は一体になるという儀式。

駒野 神と共に寝てその時天皇は女にな

って懷妊するっていうんでしょ。気持ち悪い！

天皇の秘儀を 公式に行なえば憲法違反

岡田 そのための建物は一回きりしか使えないから新しく建てるんだそうですね。

駒野 で、受胎することによって、その天皇が神になるといふんですね。これは絶対今の憲法とは相容れない。

大島 それが終わらないと即位にならないんですか。

駒野 そうだそうよ。

斎藤 まさに古代の復活ですね。古代の巫女の姿、祭祀主としての天皇の性格が如実に示されていますね。だから国事として行えば政教分離の憲法に反しますが、私的な行事なら興味深い。古代史や民俗学から見れば興味が尽きない。天皇は女性だったことの証拠になるかもしれない。

秘儀の仕掛けは、急に始まったことではなくて、細々とでも昔から伝わってきた

たものでしょう。私は天皇が冷泉家と同じように一種の伝統文化を保存する無形文化財におなりになればいいと思うの。伝統文化を保存して下さっているというところは日本の古代史を研究する上で、非常に貴重なことで、国費で補助してもいいくらいだと思います。

駒野 生きている博物館ね(笑)。文化財保存。

斎藤 ただし、男系の嫡子が相続するというふうになると嫡子が大変だから、相続やなんかはその家の自由にさせて。昔だってなにも一系だったわけでも男系だったわけでもないし、その家でもなさろうとご勝手なんです、皇室典範みたいなものが決めるということはおかしい。第一、皇室典範そのもののつくられた過程がおかしいわけですよ。

井田 私たちにとって面白い現象というのは、今までタブー視して目をそらしてきた天皇制を、こういうことになって、おかしいじゃないかって見る機会ができたこと。そこで、その力をどこまで伸ば

していけるか、ということだと思ふんです。宗教の問題でいえば天皇制を支えてきたのは神道だった。だけれども、連続と続いてきたかのごとく言われるけれども、これは明治になって強化されたものです。だから行なわれている祭祀をよく見ることが大切なんです。いろんな儀式が出てきますね、剣璽等承継の儀とか、朝見の儀とか……。みんな憲法違反なんです。本当は、典範では二つしか言ってないんです。即位の礼と大喪の礼。ところが、踐祚の儀、後継ぎの儀式としていろいろあるのです。剣璽等承継の儀なども、まさに三種の神器の勾玉とか剣とかなんだかわけのわからないものでやるでしょ。

岡田 テレビで見たけど、あれは包んだままですか。

芦沢 種明かししたら、つまらないわけですね。

井田 そう。よくわからないですね。天皇は神器をそばから離さないという理由で田中角栄が総理の時に天皇が「行幸」

の際に神器も動座しました。しばらくやめてたんですが。今度やったあの儀式だって憲法で認める国事行為にはないんです。あの踐祚の儀のいくつかは憲法的にはおかしいわけです。

駒野 あれは天皇家というヨソの家の内輪の儀式でしょう。

井田 内輪の儀式ならいいですよ。でも公的にやっては憲法違反ですよ。

斎藤 あれは公的にはやらなかったんじゃないですか。後継ぎの九人の男が同席しただけで。

井田 いいえ、あれは国事行為でやったんです。朝見の儀も国事行為でしたんですよ。

私事でやる儀式も実際には完全な私事ではないんです。皇室経済法というのがあるでしょう。あの中で三種の神器は皇位とともに伝わるべき由緒ある物として皇嗣が継ぐことになっています。

増田 お金がかかるんだから。税金でやるんだから。

井田 だから、今は儀式を見るチャンス

ですね。一月一日の四方拝から始まって、さまざまな儀式がいっぱいあって、天長節とか神嘗祭とか、いま公的にやれない儀式が全部そのまま残っている。私事としてやればいいんだと言うんだけれど、現実には私事じゃないわけです。実体のほうが先行していて、侍従が宮中三殿のお参りを天皇の代わりにやったり。

駒野 侍従は国家公務員ですよのね。

井田 そういうふうに、みんなが知らない間に事実が先行しているという実体。今はそれを知りたいチャンスになりましたね。

象徴天皇に残る家父長制は 女性差別の原点

駒野 私は今まで天皇家というよその家のできごとだと思ってたもので、あまりさわりたくもない、つきあいたくもない、どうでもいいやと思っていたけれど、こうなってみると私たちの生活にすごく色濃く介入してくるんですね。

たとえば皇室典範が男系であるということ、これは、あの家庭が私たちの象徴の家庭なのだから、男系男子が正統なんだということを私たちに押しつけているわけで、それはまがまがしきことであると考えられるようになったのです。私たちは「女も天皇にしないさい」なんていうのはイヤだと思いつつ、見ないふりをしていたけれど、あれが象徴ならば、やはり差別撤廃条約に抵触してもらっては困るということですよ。今度象徴ということの意味がすごくよくわかりました。

斎藤 今日ご欠席の松本さんがおっしゃったんですが、今回のテレビの効果を一つ挙げるとすれば、女性差別が映像化された点がよかったと（笑）。

井田 皇室の私事ならばよい、公的にやったらいけないというんだけれど、皇室という言葉自体がなんなのか。何々家という家族制度はなくなってしまうたでしょう。でも、皇室という天皇家は、一つの家、家父長制そのままですよのね。だから皇室祭祀だって何々家の祭祀と同じ

で、私的であろうが何であろうがおかしいわけです。

昔ながらの家父長制そのままで生きているのが今の天皇制。女性の立場からいうと、そこを衝いていくというんなことが全部出てきます。

駒野 理由を考える以前に女が天皇制に反発するのは天皇制の持っているそういう体質を肌で感じるからでしょうね。戦争を始めた人とか、みんなを死なせた人とか、そこまで繋げてくる以前に、家制度の根源というものの拒否反応というのが一番強いのでは。だから若い人でも理屈でなくわかる場所があつて、そういうところで女のフィーリングは天皇制に対してアンチテーゼになるなと思う。

「天皇の人権」も尊重しよう

斎藤 そういう「家」をこわせと言うのは、しかし現実にはまだまだ難しいことでしょうね。私は冷泉家と同じような立

場になられるといいと思う。そして、人間らしく暮らしていただきたい。

駒野 象徴でなくなることです。斎藤 象徴であるということは、天皇自身にとつても実に悲劇ですよ。今度くらい天皇をお気の毒に思つたことはないですね。普通なら死ぬところを、生かされて。硬いガンが最後に崩れてドロドロになつたのを胃から吸い出し吸い出し……。あんな酷な殺し方ってないだろうという気がします。いくら戦犯であるにしてもですよ。天皇にも人権はあるだろうし、それを大事にしなかつたら私たちも人権を大事にできない。あの人はもともと結婚する自由もなければ転居の自由もない、選挙権もない、そして最後には死ぬ自由もない、すべて自己決定権がない……あれはなんという残酷な存在でしょう。そういう日本人としてカウントされていいない日本人がいるという不思議さをもうちよつとクローズアップしていけば、八〇%の日本人に共感されつつ天皇が解放され、天皇制が解体するきっかけがで

きるんじゃないかと思ひますね。

増田 ただ、本人にそういう意識があつたのかなかつたのかということですよ。ヒロヒト自身が自分が天皇であるということについてのさまざまな不自由というものを書キツと意識して、なんで自分はこんなに非人間的な所に押し込められているのだろう、というようなことをわかつていたのかねえ。

斎藤 戦前の私たちみたいに、こう言われたらこうしなければならぬと思つたのでは。

駒野 それが帝王学というものですからね。

斎藤 私、天皇に率直にものを言える立場の人を知つていて、言つたことがあるの。四月二十九日に「こんなに大ぜい集まってくれて」ではなくて「私が戦争を阻止できなかったにもかかわらず、そしてあんなにも多くの国民を死なせ、何千万も世界の人々をあやめたにもかかわらず、おいで下さつて申しわけない」というその一言をどうしても言つてもらいた

いと進言してもらえないか、って。だけど大変なんですって。絶対言ってはいけないと。「戦争責任ということに一言も触れてはならぬ」と。韓国の大統領に「すまない」と言ったことでも政治的発言ということ、あとでたたかれたくらいで。お口が震えるでしょ。あれは極度の緊張の結果で、ふだんはごく普通の会話だそうですよ。

駒野 私は言語障害があるのかと思っていた。

斎藤 天皇には言論の自由もないんです。増田 それが天皇というもののね。だから悪い制度なの。

斎藤 天皇が「私に戦争責任がある」と言ったら困る人が山ほどいる。あのころの国民感情からいって、天皇一人に責任を負わせたなら、国民が許さなかったでしょうね。それこそ責任のなすりあいが始まる。だから天皇には絶対言ってもらいたくないという口封じがあったのでは、と思うの。記者会見で原爆のことを質問されたときに「そういう文学的な表現は」

とかって、突然トンチンカンな話になるでしょう。あれは想定問答がおそらくあって、そう言えと吹き込まれてまじめに言われたとおりに言った。聞いている人は気が狂ったかと思う。このたびあの映像をもう一度見て、改めて思いました。

井田 自分の言葉で言えないんですね。

この世に生を受けた人間であれば、どんな人間だって、一人として人権を無視されていいわけないんですのに。だから人権的な面から問題にするのは大事なことだと思います。

この間テレビ朝日でもやっていました。が、天皇支持者でもあまりそれを言われると困ってしまう人がいるんですね。天皇制はシャーマニズムみたいに人間の世俗の世界から離れたところにいる全く半神のようなものでなければならぬという人がいるでしょう。それが同じ人間になってしまつて、マイホームの象徴みたいなものになってしまうならいけないという論者が一方にいるわけね。だから、それを人権の側面から衝いていくことは、

天皇解体に至る一つのステップだと思います。

男女平等論を堂々と出すとか、世襲なんておかしい、長子なんておかしい、男系の男子はおかしい、と、特別でない理由を一つ一ついじっていくことによって同じ人間になっちゃうわけでしょう。みんなに少し崇めたい気持ちがあるからこそ一個の人間にしていく過程が大事なんじゃないかな。ところが、それをやられちゃったら天皇支持者のほうが困るというのと、もう一つ、カリスマ性を言ってみてもこれからの若者たちは納得しない。そうでなく、できるだけイギリスの王室型にして親しみをもたせた存在にしなければという危機感もあるんです。明仁氏は昭和天皇と違つて、どうしたらいいかと。若い人には無関心派が増えてきているし、どうしたら維持できるかと。駒野 昭和天皇は戦争と平和をとおして生きたということ、その継続性の上にある象徴になっています。シンボルの特殊性があるけれど、今度戦争を知らない天

皇ができてしまったら、そういう意味での存在価値がなくなってしまう。アキヒトという人はつらいポストにつくわけだなあと思います。

芦沢 ヒロノミヤさんという人は、自分には人権が無いということがわかつているのかなあ……。

岡田 あの人にはわかんないわよ。

駒野 ヒロノミヤさんのお嫁さんが決まらないということが象徴的だと思いますね。農家にお嫁さんが来ないのと同じです。みんな家制度で自由がないってわかってから逃げちゃうんですよ。

斎藤 「家」の解体は、まず相続の放棄権からでしょうね。そして、職業として伝統儀式をずっとお守りになるのなら、公的な行事には決してしないで、観覧料を取ったり、テレビの放映権を取ったり、それは自由に財源になさるとよい（笑）。
一同 節税にはなるわね（笑）。

駒野 もし天皇制がなくなれば、生存のための方法としては非常にいいと思います。

即位が 義務づけられている天皇

増田 大嘗祭を国家儀式にしたら、これは笑いのものですよ。

駒野 大嘗祭は国家儀式にはしないでしょ。だけどそれが終わらないと即位がすまないというのは問題ね。

井田 即位の年に大嘗祭をするというのが今までの習わしだったんです。

斎藤 それは旧憲法下でしょう。今の憲法では天皇は即位しなければならぬことになっているの？

井田 継承は、当然世襲によるでしょう。皇室典範に儀式として即位の礼というのがあります。

斎藤 当事者がイヤだと言って、つまり負債を放棄するように、相続を放棄することはできないんですか。

井田 できないんです。世襲だから。退位もできないの。順番が決まっていますでしょう。憲法二条からいっておかしいん

です。

斎藤 日本国憲法との非常な矛盾ではないの。

一同 矛盾だらけなのよ。

斎藤 基本的人権をすべての人に保障するなら天皇にも保障すべきでしょう。

増田 だから天皇は置けないんです。それなのに置いている。これは大変な矛盾です。矛盾のままに置いてある憲法なんです。

斎藤 その矛盾をもうちょっと衝いて、天皇もご自由にご放棄遊ばせ、というふうにはならないんでしょうかね。

芦沢 朝見の儀で前の皇太子が天皇になって憲法を守りますって言ったのはおかしいわけですか。

井田 天皇も国家公務員も憲法を守らなければいけない。憲法擁護義務が九九条にありますからね。

芦沢 憲法に守られてない人が憲法を守らなければならぬ義務があるんですか。
増田 だけど、象徴天皇制というのが認められているという意味では守られて

いるんですよ。

斎藤 元号制のときだって元号法という法律を急ぎょ作ったでしょう。その逆をやって、元号法を廃止するとか、皇室典範を廃止するという機能を国会は持っているわけですね。制度を変えるのは国会。そうするとやっぱり国会に私たちの代表を送り込むということ以外、ないんじゃないかしら。

井田 明治の憲法が終わって今のことになってから、天皇は象徴であるということになっていきますが、人間が象徴となってるんだから、物も言いたいし行動もするわけで、どうしても今の国事行為をはみ出しやすい。もっと言動の範囲を広げたいという人たちがいます。今の皇室典範に異議を唱えると、そういう人たちに改正の法的根拠を与えてしまうことも考えに入れなくてはならないですね。

増田 もっと悪い皇室典範にもなり得る。大島 とっても大事な時だと思っから、井田さんのような専門家をまじえて、もう一度典範とか憲法とかをしつかりと勉強

強して、どこがどう悪いのか、捉えていきたいです。政治というのはアメとムチを必ず抱き合わせるから、こちらにとつてアメだけっていうことはあり得ないと思つたほうがいいと思つてるの。必ず裏があるんで、向こうは絶対譲歩しないから、しっかりと捉えないと。下手に改正ということを打ち上げちゃうと、向こうの手の内に乗っかってしまう可能性もあるんで、そこはしっかりと作戦を練らなくてはいいませんね。

女のエネルギーで はね返そう

斎藤 私たちが今すぐできる一番有効な方法は、何といつても選挙じゃないかしら。いま頼れるのは女だけ。若い優秀な女性がふえてますね。12・19の時も、すごく優秀な女性弁護士が続々とつめかけて、ほんとに頼もしかった。女性弁護士なら、弁も立つし、論理的な追求もうまいし、若い人たちにどんどん立候補して

もらいたい。日弁連の女性部だけでも政党を作ってもらいたいくらいの気持ちがあるの(笑)。そうしたら今まで眠つていた女の人たちも目が覚めるんじゃないですか。松井さんがいつも髪逆立てて怒ってる、学習ばかりしてなんにも力にならないっていう日本の女たち、みんなどこか別のところにエネルギーのはけ口をみつけてるけど、それをやれば、結構のるんじゃないかしら。

今度敗けたらもうダメね。

増田 絶望よ。敗戦だわ。

堂本 元号の問題だって、ついこの間のことでしょ。「あつ」という間ですよね。各地方自治体で議決していつて、三千いくつだからってパーッとやっていく。優生保護法と同じ方法でやったでしょう。

増田 みんなあのやり方ですよ。

斎藤 今度の消費税だって、まさかと思つていたら……。向こうだってこんなにうまくいくとは思つていなかったのに、スルスルスルですものね。

大島 だから、みんなで買わないように17

する運動が必要なんじゃないですか。

斎藤 それと同時に、反消費税、反大赦を、まず地方議会で議決できないかしら。

消費税粉碎のキャンペーンは〈あごろ〉もやるつもりですけど。私たちは今度女の本を〈あごろ書房で〉積極的に売ることに決めたんですけれど、「ここは年商三千万以下ですからどうせ買うなら消費税のかからない当店で」という具合にPRしたい。でなければ消費税は別建てにして法務局に納めて、「この店は受け取った消費税を納めています、本日まで

の累積いくら」と表示するとか。私たちが今度店をやるうというのにはそういう狙いもあるんです。そういうことをみんながどこまでやるか。結局消費税は、商店の反対を抑えるために、庶民からは校りとして、納めなくていい隠しルートはうまく作られた。だから自営業者もだんだん反対しなくなった。ああいうことと天皇ピラミッドと、私たちそれぞれが持っている個的な天皇制のシステムを見ていくと、変えるきっかけになるのは選挙

だということがわかると思う。負け犬意識でズルズルでは、もう修復できなくなる。

布施 私は、取材していて、女の人たちのエネルギーは期待できるんじゃないかと思いました。天皇制をテーマとした集会なんかでも立ち見がワーッと出るくらいで、私自身もここまで集まるとは思わなかった。ちょっと硬いかんじの集会でしたからね。

駒野 11・23、12・8、12・19と三回も続けてね。比較的だぶったテーマであるにも関わらず、いつも満員でしたね。

布施 いろんな人が来てたと思うんです。そういう運動をフルタイムでやっていらっしゃる方、そうでもない方々、仕事が終わってから来たというような方々がすごく多かった。男の人たちのそういう集会や勉強会もあったんですけれど、わりと閑散としたのもあったみたいですわ。増田 男のは全く仲間内だけというかんじ。女性の集会は、そうじゃなくて、みんなが自分で考えてやってきた。

駒野 突き進んでくるというかんじですね。ハハーハハーって言って入ってきてね。吹く風が違っつていうか（笑）。

布施 12・19のときも誰か言ってたけれど、身近なことと、たとえば「お母さん、天皇と総理大臣どっちが偉いの？ 天皇のほうが偉いね、テレビにいっぱい出てるから」と子どもが言う。そういうところから、からだで危機感を感じている。そういう危機感からこれから時代を動かす力が出てくるんじゃないかと思いました。そういうものを取材して、なんとか電波に乗せたいと思っております。

井田 集会をいっぱい開いて下さい、という希望がたくさんありますものね。

駒野 女の人のお天皇制をめぐるいろいろな問題へのエネルギーは、継続的にやれるんじゃないかと感じます。あきずにやれそうですわ。

井田 象徴天皇制を認めてる人でもいいと思うの。来て自分の疑問をぶついたり、話し合ったりすることで変わっていくと思います。

Ⅲ 女の力で政治を変えよう

斎藤 象徴天皇」と私たちが思い込んでいたものが、今後、突如として形を変える可能性があることが、今回、さまざまな形で見えてきたわけですが、それに対して何をしていけばいいかを少し話し合ってみませんか。11・23から12・19まで、三つの集会でのあれだけの女たちの高まりが、天皇システムを決定する選挙へと燃えていけないのが、私は気がかりなんです。

なぜ女は

選挙に燃えないの

駒野 今の選挙制度だと、女の人が「この人を出したい」と思うような選挙ができなくて、お仕着せみたいな候補者が出てくるでしょう。

布施 マドンナとかいってね。

駒野 今度の東京の参院選なんか、もう決まったようなものよ。野末さん、田さんと共産党と公明党と自民党で議席五つバッチリ。社会党が候補者を決められないのもこんな情勢だからでしょ。どこに入れようかっていうときに、この五人の顔ぶれじゃ燃えないなあ。

増田 自民党が猛烈にお金を使って組織してるんですから、勝てないですよ。すごいんだから。

駒野 女の人が燃えるような候補者がいないんですもの。地方自治体であちこち女性たちが当選したのは、女たちが目に見える範囲でやれるからね。ところが東京都とか全国区とかになると……。

斎藤 いいんじゃないですか、全然知らない人がすい星のように現われたって。そのへんを、ジャーナリストたちと協力しつ……選挙前にね、「今度女たち

に新党結成の動きがある」とかささやいて（笑）。

駒野 一番ひどいと思ったのは、小野清子がNHKの体操のおばさんになって浸透したあとにバツと出てきたとき。

口々に ああいう、うまいことができればね。

斎藤 でも始めから負け犬意識になったらおしまいじゃない。

大島 女の方は、これほど政治を変えなければいけないとわかりつつ、政治はきらいだとか、ああいう汚れた世界に自分を置きたくないという部分があるんじゃないかな。

駒野 立候補するのはイヤだ、泥まみれなんてゴメンですってわけですよ。

斎藤 大島さんは八〇年代のフェミニズムが女と政治を分断したっておっしゃってるでしょう。私は七〇年代の吉武・俵選挙のあたりの後遺症はかなりあったと思うけれど、もうないんじゃないかと思えますが。

駒野 あれはもう済んだような気がしま

す。

大島 今、〈生活クラブ生協〉がかなり出してるでしょう。あのへんの路線なんかまあまあいいんじゃないかなと思いますけど。

布施 神奈川県なんかはずいぶん根づいていますね。

増田 とにかく革新があんなに分裂してたんじゃね。

駒野 でも少なくとも消費税をめぐる公・民の動きなんか見ていたら、入れたくなくなる人が多いだろうと思うわ。

斎藤 その逃げる票をつかまえる組織を作る以外ないと思います。ダメでもともとっていう気持ちで女たちが手弁当で作るの。一人でも入ったら世界中の新聞が書くんじゃないですか。ドイツの〈みどりの党〉だって初めは一人だったんですから。

大島 〈みどりの党〉は考えてるみたいよ。チラホラ聞くもの。

一同 政党も新しくしたいですね!!
布施 リクルート疑惑とかで、今はチャ

ンスですね。どんなに政治に興味のない人でもあれだけやられると我慢ならないという感じになりますよね。こういうときにすごく清新な候補者が現われたらねえ。

斎藤 増田さんいかがですか、〈新女性党〉党首に。

増田 〈天皇制反対党〉なんてネ(笑)。
堂本 自民党がイヤだと思っても、今オルタナティブがないんですものね。

斎藤 だからやはり作る以外にないんじゃないかなと思います。今年を逃したらやれないんじゃないかしら。日本の政党政治は今、はっきり言えば翼賛政治でしょう。戦争前ってこういうものだったかなあと思いますものね。

堂本 衆議院なんか本当に出にくいと思いますよ。もう票が決まっちゃってますものね。テレビ局や新聞社で選挙を分析する所がありますでしょ。投票する前から七、八割が見えちゃうものね。

斎藤 だからこそ、^有望新人現わる。みたいなこと書いてもらえないかなあ。

希望があれば日本人って乗りますからね。堂本 そこが難しいところなのよね。サラリーマン党みたいな出方だと弱いですね。二人ぐらいじゃね。

社共のような
背中合わせはやめたいネ

斎藤 この二日間の昭和史のテレビを見ていたら、市川さんが金権政治反対を叫んでらした。ああいう人がいなくなりましたね。だけど、彼女の残した〈婦人有権者同盟〉はあるわけですね。あそこは女と政治ということを一貫してやってる。そして男のシンパも多いんでしょう。ああいうところを核にしながら、ヒトデみたいにいっぱい触手を伸ばしていけないものかしら。

大島 それはいい考えだけど、あそこは若い人に受けますか。

斎藤 たしかに、若い人たちにアピールしにくいかもしれないけれど、女のグループで「政治」を専門にやって来たのは

あそこでしょう。仮に多少の難点があつても、片目どころか両目つぶつても組んでやり抜くという気持ちがなかったら、とてもじゃないけどこの流れを変えることはできないと私は思うけど。

布施 私と同じようなことを考えていたんです。女性は今まで在野で、対男性社会とか対体制でやってきたし、多分、そういう表現の仕方しか許されなかったんだと思います。そういうやり方はすごく大事なんだけど、これからは、ちょっとは目をつぶつても、ちゃんと決定できる立場に女性が行くとか、私の場合、今は若手だから組合としてやるしかないんですが、これからは多少足をひっぱたりしなければならいかもしれないけれど、もっと中枢に入りこんでいって、それで世の中を変えたいと思うんですね。

増田 そうですね。ただ中枢に入りこんだ時に女であることを忘れないでほしいですね。みんな男になっちゃうんですよ。

斎藤 フェミニズム運動の中には、ドロ

ップアウト志向がすごく強くあったでしょう。体制の中に入ってゆく人を白眼視したり、体制の中でがんばっている人をとても冷たい目で見てきた。でも、現実には世の中を変えてきた人というのは、やはりそういう居にくい場所において、増田さんのように〇・一％の中にいて、叫んできたんですから、そういう人を、私たち庶民は支えつつ、少なくとも多少なにかがあっても許せる範囲のことであれば目をつぶりつつ、人口を増やしていかないう限り、どうしようもないと思うの。

増田 中枢に入っていくたら、やはり血の雨降つてもペンを振るうというふうにありたいですね。

布施 私は、次のXデーが来る時には、「自分は何もできなかった」と言いたくないんです。私はキチツとものを決める立場にいたい。だけど多分それはすごく難しいことでしょう。女性の同僚とよく話し合っただけで、「女は最初から出世のことは考えないし、その分言っべきことを言っ、男が言いにくいこともど

んどん言っていくべきじゃないか。それが結局、自分の仕事にとっても会社にとっても、いいことなのでは」って言う人がいるんです。私にもそういう考え方はあるし、それは私はわかるんです。でもやっぱりもう一つ、自分の本当にやりたい仕事や、世の中に対して言いたい主張を実現させてゆくためには、言いたくないのもちよつとグツと我慢するとかしないといけないのかもしれない。

増田 言いながら入りこむのよ。女の場合は。

大島 男社会の中で女の人もがんばっていかなくちゃいけないというのもあるけれど、がんばる女の中に男以上に男になつてしまう女もいるんで、私は男社会に頭を下げて入れてもらう代わりに、女たちでがんばったほうがいいですね。危険性を感じます。

斎藤 そういう思いもよくわかるけど、入り込む女はまだまだ少数派だから、管理する側は、女の能力で利用できるものは利用するけれど、基本的には女たちを

マージナルなものとして排除していく。

また女たちの側でも有能な女を異端視していく。そういう度量のなさがまた、彼女たちをしゃにむにがんばらせたり、必要以上に自分の持っている権力を誇示したり、というふうになっていくんじゃないの。私は、もうちょっと女の人が女の人に温い目を注いでほしいと思いますね。堂本 たたとえばアメリカのNOWなんかは、中絶の問題っていうとバツと一つになるじゃない。あれができないことが残念ね。左右上下関係なく、女であるという共通項で一つになるということが日本では少ないですね。

駒野 たたとえば男の共産党と社会党がいつしよにならないのと同じよね。

一同 同じねえ。

斎藤 (四十八団体) なんかは、自民党から共産党の婦人部まででありながら非常に忍耐強い。コンセンサスを得るまで粘り強く妥協する。私はあそこでいろんなことを学びましたね。とにかく結束しているの、(主婦連)の中村紀伊さん

なんかが国会の公聴人になると、「私のうしろに三千万票があります」って言う。

すると自民党でも後ろに下がる(笑)。多少なにかがあっても結集力は力になりますね。フェミニズムも、もう一つ自分の体を大きくしていって……。

駒野 あれだけ数が集まると、婦人少年局でも厚生省でも呼びつけるとちゃんと来るの(笑)。

増田 普段はそれぞれユニークなことをしていればいいけど、いざというときには結束したいね。

堂本 (四十八団体) は、ナイロビが終わってからもやってるの。

斎藤・駒野 やってますよ。

駒野 中にいろんな人たちがいるから決して突出したものにはならない。でも決して悪い方向にはならないのね。

斎藤 消費税なんかもあそこが一番抵抗した。

駒野 いわゆる座り込んだりするようなことはないけれども、適確な文書を適確な時期にピシピシと送りつける。

増田 ただあれを運営するのは大変な努力ね。

斎藤 あれは山口さんはじめ中心になっている方々の力ですよ(そう、その声)。

駒野 いくつか分野があって分野ごとに案をまとめたりして小グループがかなり忙しく動いてますよ。

斎藤 それぞれ中心になってる人はみんな立派ですね。やっぱり市川さんの灯は残っていると思う。だからいろいろのことがあるにしても、「市川さんの灯を消さない」っていうあたりで結集したらどうでしょう。いま、核になれるとしたら、あそこぐらいじゃないかしら。

大島 紀平さんはどうなんですか。

駒野 今度、熊本で参院選に出られますよ。

堂本 あらゆる党があるから、(四十八団体)としては選挙には出られないですね。女性としてのアピールはできるけれど。

斎藤 (市川房枝の志を継ぐ会) という名前にしてもっと広げることも方法かも

しない。それくらい大きな発想をしないと流れは変わらない。ダメだダメだっていうのは、やっぱり「自分の中の天皇制」なんじゃないんですか。

堂本 今度の選挙に紀平さんを出すことにあそこが全力投球するとしたら比例代表制からは出さないんですか。

斎藤 計画は聞いていませんが、比例代表制からも出したいですね。女性全体の票を集めれば、十人は当選するんじゃないですか。

立法院だから 法律に強い勉強家を

大島 いい候補者はいないんですかねえ。
斎藤 若い人でいっぱいいっぱいいるじゃない。「日弁連」なんかにワンサカいるじゃない。

増田 〈女性の権利委員会 なんか……。

斎藤 弁護士さんは調査の資料を集めたり、押さえるべきところを押さえることができるから、いいですね。立法院ですから、法律に強い人がいい。均等法のと

き一番うまいなと思ったのは男性ですけど江田さんですね(そう、そう、の声)。ポイントをついてて、あんまり厳しいことは言わないのに実は一番厳しいことをグーッと衝く。議員さんは法律家がいいなァと思いましたね。

井田 でも女性弁護士は出てますよ。

堂本 私は精神衛生法の改正のときずっと委員会を聴いたけれど、千葉景子さんの質問はよかったですよ。

増田 弁護士さんをどんどん国会に送り込みましょうよ。

井田 女性弁護士も増えてますしね。

堂本 弁護士さんがいいのは、落ちてもまたすぐ弁護士になれるところね(笑)。そうじゃない人は失業しちゃう。

斎藤 各県で一人ずつ立てるようにしたらどう?

大島 そんなにワサワサ立てなくても。

成功させることが大事じゃないんですか。
斎藤 地方区で立てて全国区の票につなぐの。落ちてもいいから。

増田 二回ぐらい落ちたらみんな入るん

じゃない(笑)。

大島 共産党的のように、落ちても懲りないあの精神が大事ね。

斎藤 金は私たちが手弁当で。市川さんの最大の功績は金がなくても勝てたってことね。そのたんびに経理を公開したでしょ。あれをやったらしい。

堂本 「市川房枝に続こう」っていうスローガン立ててやったらどうですか。

斎藤 核は「有権者同盟」と「日弁連」ね。

一同 いいね。

堂本 今はリクルートに対抗するにはお金にきれいなが一番いいですからね。

斎藤 「女性弁護士でリクルートをあばこう」という大キャンペーンを張るの。そのためなら「月刊あごら」を「日刊あごら」にしてもいいわ(爆笑)。

「市川房枝の志を継ぐ」で
大キャンペーンを

堂本 市川房枝さんには男の人もいっぱ

い入れたんですよ。お金がきれいだったから。いま金権政治の世の中でクリンなイメージを出そうとしたら、市川房枝に続けっていうのはいいと思いますよ。みんな女が手弁当でやってる、お金は使いませんっていうスローガンだけでやったらどうだろう。

増田 地域の女性議員さんはだいたいそれで出ているわね。

斎藤 市川さんは無党派で立った女の人を、当選しようが落選しようが必ず集めて慰労会をやったらしいでしょ。

増田 今もやってますよ。

斎藤 全然なんにもないところから作るのは大変なんで、長い政治の伝統のあるところに結集してね。私たちは、縁の下のごみ捨いをするから、なんとか出てほしいわね。

大島 ところで、行動をおこすには半年はきついですか。

斎藤 きついなんて言ったらなんにもできないでしょう。やぶれかぶれでやるっきゃない。

大島 斎藤さんは若いネェ!! (爆笑)

斎藤 (Go it yourself) っていう日曜大工のグループでとてもいい言葉聞いたの。「ダメと思う心が、可能をも不可能にしてみよう。できる」と思った時は、もう半分できている」って。以来、自分の心にそう言い聞かせています。もう一つは、「ダメでもともと」と思っていることにしてるんです。本当にやらなければならぬことは、確率が1%でも全力を尽くす。そうすれば、敗れてもすがすがしい。

堂本 でも、小野清子じゃないけど、売り出す準備は絶対必要ですよ。

斎藤 そこをマスコミの方に頼りつつ、なんとか売り出したい……。

堂本 今のリクルートの時に立つというのはいいですね。

斎藤 無名だということがかえって売り言葉になるかもしれないわよ。この人はなんの汚染もされてない無名の新人、若さと清さっていうことでアピールする。これでダメだったら私は日本に住むのをやめよう (笑)。

やめよう (笑)。

駒野 具体的に考えると、ウンという人がいるかしら。

布施 若い人がいいわ。

大島 せいせい四十の初めまで。落ちてもまた出られるくらいの方がいい。

斎藤 とにかくその人が落ちようがなにしようが、一度支援すると決めたら二心を持たない。選挙の時は必ずいろいろあるものだけど、そのところは目をつぶってネ。その人を売りこむ共産党方式でやるしかないんじゃないの。

駒野 何人か、リストアップしなければ。

斎藤 二年前の地方選に出た(あこら鳥取)の芦谷さんなんて、ものすごく面白い人。で、「あなたこの次は参院選に出なさいよ」って言ったら、「ウン、出てもいいね」なんて(笑)。とにかくああいう笑わせる明るい人がいい。

堂本 今から女性が出るんなら、いろんなタイプの人が出せますよ。男だとワンパターンだけど、女の人はいろんな人がいますよ。美しい人とか面白い人とか。

大島 失うものがないからなんでも言えるのね。

斎藤 官僚の偉いところまで昇りつめたとか、何々大学をお出になったとか、そういう手垢のついてない人を。

堂本 竹村さんなんて、元HBCのアナウンサーで主婦。ああいうセンスの人がいいんじゃないかしらね。それこそなんにも失うものがない。だから票数は角栄の次でしたものね。

斎藤 〈女勝手連 みたいなのを作ったらどうなんだろう。「市川さんの志を継いで、弁護士とか、いろんな女性の人材を集めた」ということで売りこむの。そしてあらゆる女の人が街頭演説に行くわけ。毎日毎日歌ったり踊ったりしつつ暴れまわって……〉

堂本 竹村さんは〈勝手連〉で入ったんですよね。

井田 池田敦子さん。あの方の質疑なんかは聞いていてもなかなかいいですね。

いま水の問題かなんかで一生懸命ね。

斎藤 鳥取の彼女なんかいいと思うのは、

とにかくユーモアがあって笑わせるわけ。国会で、よくあれが日本語かなあと思うような、すごい難しい言葉を使うでしょう。そうじゃなくてワツと庶民感覚で笑わせて、聞いているみんなが「そうよね、それが私たちの言いたいことよね」と後ろに行列のできるような人を送りこみたいの。この前は町議選だったけど、彼女の選挙運動にはみんな有給休暇をとって代わる代わる行って、「面白かったね、この選挙があと一か月続いたらよかったのにねえ」って〈笑〉言ったんだけど、そんな楽しい雰囲気。いま、女の人のパフォーマンスもすごく上手になってるし、知恵絞ってやれたらなあ。

大島 現場ではとにかくやってくれる人がいいんですね。

堂本 ある程度国会でやれる人でないからね。あくまでも法律を作る場ですから。弁護士の方とかは法律に詳しいからきちんとさる。千葉さんの質問を聞いていても、「この法律と精神衛生法との両立はどうか」とかいろいろ引っぱってきて、法務省を攻めていけるんです。そのへんのところで、誰でもいいっていうわけにはいかないんです。市川さんも法律にたいへん強い方だったし、竹村さんは勉強してだし、自分で現地へ足を運んで質問してだし、当選すればいいっていうものじゃないんです。自民党の場合は、当選すればいいんですよ、数の内だから。だけど、革新とか女から出たら、できる女の人じゃないとダメっていうことになるのよ。

斎藤 できる。っていう意味で、弁護士さんは絶対たくさん中枢においたほうがいいと思うけれども、ユニークな人、ワーッと笑わせるような大衆性のある人も入れるといいと思うの。竹村さんみたいに、当選してからきちんと勉強する人ならいい。

駒尺さんなんかも いつも おっしゃってるけど、選挙に勝つということでは、多少の問題のある人でも、みんなでスターをつくっちゃえばいいんじゃないかと思いますが。

出したらブレーンで 支えていこう

堂本 田中寿美子さんはその点立派でした。均等法でもあれだけ対案の法案を出した人ってほんとに少ないんですよ。

斎藤 「あれを粉碎する」とか「これはダメだ」とか言うだけだったら、もうだれもついていかない。みんなブレーンになって、対案を出すようにしないと。

堂本 今の野党は対案がほとんどない。みんなが応援して周りにいっぱいブレーンがついてどんどん対案出してアメリカの国会議員みたいにしていくのではないと。土井さんにもほんとはもう少しみんなの手伝わなくちゃいけないんだけど、どうも手伝いにくくて。

駒野 都知事選のときに《勝手連》みたいなのが、土井さんに「社会党辞めていっちゃ出たら僕は応援する」って言ってたわ。土井さん、笑ってたけど三・四十分つきあってお話ししてたみたいよ。

増田 政党を離れると土井さんも魅力がある。今度の選挙で社会党が思うように伸びなかったら辞めさせられるわね。

堂本 土井さん以外に、誰が社会党の委員長になれるの。

増田 私たちはそう思うけど、中の人はそう思わないのよ。

駒野 なんだか天皇制から話がそれましたね（笑）。

斎藤 でも、天皇制で話を終わらせたならダメだっていうのが私の持論なの。根っこが違いうように利用されるから。オルタナティブな私たちの発想、それこそ対案だと思っ。けれど、それを出していかないと。

駒野 敵は現実の天皇個人とかシステムではなくて、日本の社会を支配しているそういうシステム、仕掛けだと思っ。

斎藤 政界や財界の天皇の利用構造をもっと解明していかないとね。テレビで上坂冬子さんが「私は今ごろになって天皇制のことを言うのは自分の感覚になじまない」と言ってた。「言うならもっと早

く言えばいいのに病気になったり死んだりしてから言うのはフェアじゃない」って。これはふつうの庶民の感覚だと思っ。それがいいか悪いかは別にして、そういう庶民の感覚がある中で私たちがどうしていくか、という、とても具体的な発想をしないと駄目なんじゃない？

天皇は大切という 庶民感覚も考えないと

駒野 一般的な感覚でいうと、天皇のことを話題にする時には、なにが話しやすいのかしら。天皇には人間としての人権がないということかしら。

斎藤 天皇制反対っていうと、かなり拒否反応が出る。11・23の前に署名に回ったら、ずいぶん拒否されたわ。「隣のおじさんが病気でみんながお見舞いに行くようなものになんで反対するの」って。で、つくづく考えて、「だけど隣のおじさんには死ぬ自由がないんじゃないの。あなたのおじさんだったらあんなに

までして生き長らえさせておくかしら」
っていう言い方をするとわりとわかって
くれるの。かわいそうだなあっていう気
持ちは誰しも持つてる。「定年もない、
選挙権もない、ああいふ立場から解放し
なきゃ」って言うと、「そうね」という
答えが自然に出てくる。

駒野 天皇制について仲間うちでないと
ころで話すのはとっても難しいわ(そう
その声)。

斎藤 「かわいそうだったねえ、胃から
吸い出したのはみんなガンが崩れたのだ
ったそうよ」って言うと、みんな、「あ
あそうだったの」って言います(笑)。

増田 でも、一生食べる心配がなくて、
黙ってても、どこに行くにもいい車に乗
せてもらって、いいご身分だったんじゃ
ないの、ということと、かわいそうとい
うのは、なかなか結びつかないかもしれ
ませんけどね。

芦沢 今の庶民はベントなんかを乗りま
わしてますから、あんまりうらやましく
思っていないわよ。それより自分の自由度

がないっていうことのほうが……。
大島 生活はそんなにたいして違わない
ものね。

井田 テレビなんか見ても、質素なもの
を食べたりしてますね。

斎藤 土光さんほどではないにしてもよ
(笑)。

増田 サンマが食べたって言って、ま
た人氣が出ちゃったりして(笑)。

敗戦の直後だって銀シャリが山ほどあ
ったっていう話は本当みたいよ。

斎藤 だけど、「汝、人民飢えて死ぬ」
みたいな怒りは今はない。むしろ怒りは
リクルートのほうにあるんじゃないん

で、すか、百何十億もの不労所得に税金が一
銭もかからないなんて。——私たち自身

の天皇に関する固定観念を捨てたほうが
いいと私は思う。

堂本 天皇って自由がないですね。この
間ノルウェーに行ったら、あそこも八十

いくつの王様がいるんですけど、すごく
スキーが好きなんですって。パーっと一

人で山に行くの。夏になると自分で海に

行ってヨットに乗ってるのね。ステキだ
と思ったことは、昔の王宮があるでしょ
う。その庭は全部一般に開放している
の。建物だけが王宮であって、王宮の庭
は子どもやんかが遊んでる。すごく庶
民的なの。

斎藤 日本も、いつか皇居を開放しても
らいたいですね。新天皇の孫の代になる
かもしれないけれど、ご自分からそれを
言い出すような環境を作っていきたい。
増田 美智子さんががんばってくれない
とねえ。

斎藤 ダイアナさんみたいに、結婚の宣
誓で「夫に従います」は言いません、っ
ていうくらいのフェミニストだと変わる
んだけど……。

堂本 修道女みたいなオビディアンスで
すものね。服従そのものですね。

駒野 あれもほんとに残酷な感じですね。
この間久しぶりに結婚する前の写真やな

にかをテレビで見ましたでしょう。

一同 かわいかったわねえ。昔は。
駒野 あんなに生き生きしてた人が、あ

んなクシヤクシヤになっちゃって。

井田 テレビでいじめられた話をしていましたね。誰にいじめられたんだって聞いたら女官長だって言っていましたね。手袋事件とか。

駒野 昔大きな家に嫁に行った人がさんさんやられたのと同じよ。

新天皇になったら 変わるかしら

増田 これはウワサですけど、今の天皇は宮内庁とすごく仲が悪いんですってね。それと中曽根が大嫌いなんですってね。政治利用が露骨だからね。

斎藤 彼は天皇になりたくなかったのかもしれませんね。なりたくないけど世襲だからしかたなくなりました。「憲法を守り……」の中に、ご自身の人権も含まれると、うれしいけど。

増田 憲法を守るって言ったほうが天皇制は安泰なものね。

駒野 吹上御苑を開放するなんて言い出

せばしめたもの。

増田 でも天皇制に反対しない側から見たら、反対する側はこの百十一日の間なにを戦っていたのか不思議に思ってるんじゃない?

井田 だから、七割だか八割だか大多数の人が、「ありがたい」とか「敬愛の念」とか言っている。ああいうところをもっとずっと考えてみないと、反対運動は絶対広げられないと思います。

増田 でも問いつめてみると何の実体もない敬愛の念であり、全く根拠のないものなんじゃない。思い込んでるだけなの。斎藤 明治維新の時に、薩長が担ぎ出したわけでしょう。

増田 キツネがついたようなものなんだ。斎藤 幕藩体制を切るために新しいイメーヂを創出しただけのことであって、明治以降の「新天皇」の歴史はとても浅い。堂本 百年しか歴史がないんですものね。

増田 だれかが「おまえ、そんなにわがままを言ったら天皇の位をはく奪するぞ」って明治天皇を脅かしたっていう話があ

るくらいだね。

井田 この間テレビを見ていて、木元教子さんが「天皇制は私の心のよりどころだ」って言っていてびっくりしちゃったの。外国に行ってたときに、やっぱり天皇があるっていうことによって日本人だと思ってる。心のよりどころだということ、どうして木元さんでもそう思うのかというあたりを説明しなくちゃならない。

大島 知人で、女学校時代に共產党に入党して、その後新たに新左翼運動にかかわった男たちを経済的にも援助してきた女性がいるの。ところが、こと天皇制になると全然違ふのね。木元教子さんとおんなじ。ところで私はどうなのか、勉強しながら考えてきたんだけど、ほんとうにみんなの心の中に天皇制を認めている部分があるんだから、それはなんなのだろう。天皇制反対の人は、わずか七、八%。大多数の心理とはなんなのだろうかということ、これを説明しないといけま

せんね。

齋藤 それぞれの人の心に宿る「天皇」の解明と同時に、「象徴」を置く意味をもう一度考えてみたいですね。今は「象徴」で無害だからいいと思ってるけれど、この二日間のテレビと新聞は「えっ、もしかしたら有害になるんじゃない」という危険性を暗示してくれたということでは感謝しなくちゃならない。

井田 必要性があるのかないのかということをもっとキチッと議論しないといけないですね。

“天皇という宗教”を 自らの心にどう問うのか

堂本 デモクラシーと天皇制の整合性の問題みたいなこと。これはよくわかります。それと全然次元の違うところで宗教でもあるんだということを言われましたが、これが困っちゃうわね。その不整合性はわかるのだけれど。たとえばタイ

のようなところと違って日本では仏教は普遍宗教になり得なかったですね。キリスト教も、こんなに伝道しにくい国はない。韓国もキリスト教になってフィリピンもカソリックになっちゃったけれど、日本はキリスト教にならないです。そういうところかというと、心の中に天皇制があるのは明治以後ですが、心の中に入っちゃっていたからそれ以外のものが入れなかったのかな、とチラっと思ったのだけれど。宗教ということで語られると、また九十何%かの人が、そういう意味で天皇制を認める。論理と感情、心というものは一人の人間の中で分離できないものだから、倫理的には整合性をもたせる必要があるけれども象徴としてならいいじゃないか、ということになって……。だから難しいですね。

齋藤 今度の二日間のテレビを見ながら、つくづく、この宗教がなぜ根づいたのかということと考えたんですが、天皇は八百万の神の一つと思われ続けてきたんじゃないかと思ったんです。

堂本 日本にはアニミズムがずっとあるんだもの。

齋藤 日本は多神教で、だから八百万の神の中でも、神の中の神、天照大神の子孫である、みたいと言われると、アプリアリに受けいれてしまう土壌がある。

堂本 それはもうずっとある。稲の神様とか火の神様、アニミズムの神様は脈々として生きている。それは日本人の本質だと思いますね。

齋藤 だから私は天皇家は伝統芸術と伝統宗教を守るありがたいお家柄ということとで、それはそれで奉ると。

増田 政治から全く切り離してしまうわけですね。

齋藤 そうです。完全に切り離す。国に象徴を置く必要もないんです。すべての桎梏から自由にして、伝統を、古文書を保存して下さってあげてください。テレビに出たらテレビの放映料を払ってあげて……というふうにするのがいいと思うのよ。

増田 いつの日か三種の神器が骨とう屋

に出ることを祈っています（爆笑）。

それと明治以降、天皇制はアメとムチ
ということがうまくいったんですね。弾圧
の怖ろしさというのはものすごく、だ
からみんなが畏怖して、信じてみたり崇
めてみたり畏れてみたりしてタブーにし
ていったね。

駒野 七日の日に11・23の実行委員会で
Xデー行動をしてきたの。新宿の文化服
装学院のわきの正春寺に「大逆事件」の
菅野スガのお墓があるの。そこにみんな
で赤い花をもって十二時に集まりました
うっていう集まりがあつて、私は家がす
ぐそばだから行ってみたら、いっぱい人
が来ていて……。ただその時びっくりし
たのは、来た人たち、女の人たちはケラ
ケラ笑ってピクニック気分なんだけど、
取材に来た記者の人のほうがすごくひきつ
ってるの（笑）。

「お名前伺ってもいいですか」なんて
聞いているけど、名乗らないような人なん
ていないわけ。

増田 反逆者の集団の取材に来たと思っ

たのね。昔ならこういうのはきつと不敬
罪になるんじゃないの。

駒野 碑にスガの辞世の歌が彫ってあつ
た。「くろがねの窓にナントカ」って。

昔ならここに来ただけで「黒鉄の窓」
（獄舎）になるんだらうなあと思った……。

それはもうすごい弾圧でしたからね。

結局死刑になっちゃったものね。菅野ス
ガは、激しく批判していましたね。でも
「明治天皇は賢い人で人望もあるらしい
が」って書いてるの。個人というよりは
天皇制、制度に反対だということをも明
治の初めからちゃんと書いている。
堂本 同じくり返しね。

増田 今、私たちがここで言ってたよう
なことを明治に言ったらみんなあしたは

「黒鉄の窓」よ（笑）。

あんまり天皇制がこしらえものなんで、
うちの母（住井すゑさん）なんかもせせ
ら笑うんです。いかにいいかげんなこし
らえもので、急造して、速成で、ご都合
主義で、押しつけて……。考えるとおか
しくって……。……て言うの。

斎藤 皇族で日本の古代史専攻の方が出
るといいのにと思う。そうしたら、いや
がおうでも御陵を発掘したくなるに決ま
ってるから（笑）。

駒野 誰か、一時期考古学に興味持って
たでしょう。

斎藤 三笠宮はオリエントでしょ。王墓
の発掘がどんなに意味があるかご存じの
はず。

駒野 すでに渡来人が先祖だったってわ
かっているからいいじゃない。面白いじゃ
ない。

一同 いいわよ。

斎藤 それこそ国際化じゃない。

増田 藤の木古墳が大変なんでしょう。
日本人の先祖が百済だって新羅だってい
いじゃない。向こうに決まってるじゃな
い。

布施 さつき堂本さんがおっしゃった、
感情・心の部分の議論が難しい。それは
ご真影とか教育勅語を知らない私たちに
もあるんです。私の個人的な経験なんで
すけれど、以前ワシントンに住んでいた

ことがあるんですが、天皇が訪米して、在留邦人はホワイトハウスの庭で日の丸かなんか振ったりして。で、天皇のスピーチがあったんです。曇ってたんですが、スピーチの終わりの最後のフレーズのところで雲間ができて太陽がパァッと射し込んで。私、びっくりして。昔天皇は現人神と呼ばれていたということぐらいは知っていたんですが、うちの両親なんかもう感激して「やっぱり天皇陛下は太陽の神様だ」なんて言ってる。で、私もびっくりして、ヒロヒトっていう人はただものじゃない、と思ったんですね。私は理性的な部分ではただの人間だってわかっていますよ。天照大神の子孫なんて笑わせないでって思いますけれど、そういう感情的な部分でヒロヒトという人はただものではない、普通の人とは違うものを持っているな、と思うんです。そういう部分はわりと多くの日本人は持っていて、うちの親も持っているし、けっこう心から尊敬申し上げている。そこはジャーナリズムが立ち入れないところだ

と申したんです。

堂本 この二日間は、そこに一番効果があつたんですね。

布施 だから、むしろ自分たちの利害に関わる部分で議論を始めたほうがわかりやすいのでは、と思うんです。これから、なんとかの儀だ、なんとかの礼だと、こんなになくさんお金が必要なのか。私たちの税金でやってるんですから。あと、皇族のなんとかの宮っていうのをどう作るけれど、それは本来に必要なのかチェックしなければいけないという問題とか、税金を払う立場からアブローチしたら、「天皇がとにかく好き」という人も、自分の納めている税金にかかわる問題なので、少しは耳を傾けてくれるのではないかと思うんです。

斎藤 お金から始めて説明すると、たしかに耳を傾けますね。

布施 とにかく皇族はねずみ算式にどんどん増えていってるんですから。たまたまです。

駒野 永久に広がっていくの。

斎藤 でも幸いに男系だけが皇族だから男が生まれなければ自然消滅……。

増田 生み分け、をやってもいますか。(笑)。

布施 天皇制がいいと思ってる人が多数を占める中で、天皇は好きだとか天皇は尊敬しているっていう気持ちまで立ち入って「あなた考え直したら」っていうのは難しい。

駒野 なかなかのつけからは言えません。布施 やっぱ天皇って個人の自由がないんじゃないっていうところから始めるとか、あるいは天皇に対して行なわれた医療がどうであったのかとかガンの告知の問題と絡めるとかしてね。そういうレベルで考えるしかないと思いますね。

増田 歴史の中で苦しめられてきた人が大勢いるっていうことは、やはり歴史の表面に出ないんですよ。語られない血塗られた部分があるわけ。そういうことを言わなければいけないんです。

大島 ひよっとしたら、私たち日本人のなかに、天皇を特別視してオーラをかけ

なければ気が済まないような、そういうところがないかなあ。だから、天皇制を打倒するとかいうことではなくて、仮に

存続するとしても、親しい、自分と対等のものなんか求めてないんじゃないのかな。今日も、「威厳よりも親しさのある皇室」ってテレビで言っていたけれど、

親しみがあってあまり身近になったら面白くないと感じるんじゃないかな。

駒野 林真理子さんがそういうことを言っていた、「少し遠くても神秘的なほうがいい」って。

堂本 そこがノルウェーの人たちと違うところですね。あの人たちは、王様は隣の何とかさんでいいわけだけど。

増田 日本人にはね、自分より上の人が欲しいという、そういう変な倒錯した心理があるんですよ。

井田 若い人もそうなのかしら。私はそのへんが……。今までのカリスマ的なものに魅力を感じる年代層とそうでない若い人たちといえるでしょう。存続派がどっちをどう求めているのか……。

大島 宗教って、カリスマがいらない限り宗教にならない。

井田 そうすると親しみのある皇室じゃダメ……。

堂本 カリスマ性がなくてもカリスマ的人格に作りあげているわけでしょう。

井田 だから支持者の中にあんまり人格だのどうだのこうだの触れないでくれている人たちがいるわけでしょう。一方、もうそんなものはもうダメだ、そういう時代は去っちゃった、もっとイギリスの王室みたいに親しいものにしなかつたら天皇制を維持できないんだと、ひたすら親しさのキャンペーンをするという人たちと両方あるわけ。

大島 逆に言うと今の天皇が庶民的でありたいと思いつつ、そう思っていることが自ら天皇制を解体していくことになりかねない、内部から崩壊していく……。

一同 そうね。

駒野 それが彼の望むところかもしれない。引退したいと思ってるかもしれない。だから私たち、ほんとに日本人って

なんなのかを、考えないといけないと思う。

象徴だったからこそ 利用され続けた

増田 つまり、日本人がどこにアイデンティティを求めるかという問題でね。日本人はそれを自分自身に求めないで天皇に求めるの。そこがおかしいっていうの。土台人間として、どうしてそういうふうになるのかっていうことが私は不思議で不思議で不思議で不思議でしようがない。で、なぜそうなるかという、外側に在るからなんです。なくしたら誰も天皇制なんて信じなくなるの。たったそれだけのことなの、私に言わせれば。取っちゃえばいいの。ね。

池田 天皇の利用体制が問題なんですよ。ね。

増田 あれば利用しますよ。なければ利用しない。

池田 そうすると、これから、テレビや

マスコミを通じて刷りこみをして、若い

人たちはなんかに、「なんかわかんないけどわかんないからすごい人なんだ」って刷りこんでいて、結局それでどうしようとしているんだろう、というところが疑問なんです。例えば戦争が間近に迫っていれば、それにみんなを行かせるようにという具体的な目的があるでしょうが、そういう問題がよく見えない状況の中で何をしようとしているんでしょうか。

増田 支配者が強大になれば、天皇制があったほうがずっと都合がいいんですよ。ないとなかなかみんなの意見が一致しないから。ああだこうだ、ああだこうだ、言ってるね。

井田 統合の機能があるんです。それを利用して。

増田 だから天皇が戦争をしようって言ったらみんながやろうっていうことになる。そんなすさまじい機構なんですよ。だから、こういうものはやめなくちゃいけない。

池田 有害なわけですよ。火種ってい

うか……。

増田 有害ですよ、作った制度だからやめたらいいんです。自然に生えたんじゃない。

齋藤 野心のある人が常に利用してきたのね。信長にしても秀吉にしても……。増田 そして、権力者は常に野心を持っている。

池田 そこを怒りとともに……。

増田 そうそう、怒りとともにですよ。

駒野 でも、どうしてあんなに無力だった近世の天皇が、いちいち將軍に利用される価値があったのかしら。

齋藤 そこが、宗教だと思うの。古代以来の古い、農業の予見者としての信仰はずっと続いていたと思う。象徴は敗戦後に決まったんじゃない、ずっと。象徴。だったんですよ。

駒野 まああんまりジャマにもならなかったんですよ。

齋藤 利用する側からすると、単なる象徴で、力がない点がよかった。ロボットに最適なわけよ。薄儀さんと同じなのよ。

増田 そのくせどこか頼りにしたり寄りかかったりしている……。

齋藤 現実には天皇の権力をどんどん奪ってるわけですよ。天皇が口をビクビクさせなければならぬくらい怖れるような外の勢力というものがあって、天皇が怯えれば怯えるほどますます都合がいいわけ。

だからいろいろなかたちで訴えたいんじゃないんですか、「なぜ天皇は口が震えていたか」とかね(笑)。私たちがニコミがやるときにはいろいろゲリラ的にやってみてね。そういうことのほうが、自分の内側にある宗教としての天皇を壊していけると思う。真向から国民九十何%を相手にしても無理ですね。

堂本 別な切り口から話していくと、ちょっとこっちに来ることもあるのね。事実を知らないということもある。

井田 戦争責任の問題でも、たいへん平和主義者であったと強調するから天皇は善人になるんですよ。「もう一度戦果を挙げてから」と天皇が言ってますね。

そういう事実を知らればまた変わってくるわね。だから、事実はどうなのかというところを証明する必要があります。

齋藤 それと、天皇を利用した史実の証明。システムとしての天皇制の説明をしないと。

駒野 仕掛けとしての天皇制ですね。

齋藤 子どものころ両親が軍部が大きらいで、いつも「君側の奸」と言っていたの、軍部のことをね。天皇のそばにいて悪い方向に引くばると。今度テレビ見てたら、軍部が当時の文官のことを「君側の奸」と言っていたことがわかった。

増田 君がいれば必ず「君側の奸」がいるんですよ。常に「君側の奸」がやられて「君」がそのまま温存されるの。「君側の奸」がいるから「君」がいるわけじゃないのね。

齋藤 双方が「君」というものを利用しつつ、その無責任体制を非常に構造的に作った。

増田 両方にとっていいわけです。天皇にもいいし、周りの政治家や権力者にと

ってもいいんです。

井田 軍部の中でも、対立があったような場合は天皇に言わせる。言わせたほうが勝ちなんです。

増田 調整機能がある。

齋藤 夜が明けると別の意見を聞いて話が豹変していたという報道も、今回ありましたね。

井田 最後の終戦もそうでしょう。

増田 でもあれは自分の命が助かるってことがわかって決断しているんだから。国体の護持が決まっただけで終戦にしようということになるんだけど、すごくあそこはずるいわけよ。天皇がなにをやったかなんていう資料も私たちにはいない。知っていることができない。都合のいいものだけを出すわけだから。悪いものがないにも出ない。

齋藤 天皇は彼自身のメモワールを残せなかった。もしチャールズ回顧録みたいなもので、天皇回顧録が残せたら、資料として一級のものだったのにね（そう、そう、の声）。やっぱり書けない。

増田 言論の自由がない。いいかげんなことがたくさん行なわれていて臣民が知ったら困ることばかりやっているからそういうことになる。やっぱりなんといっても悪の機構なんですね。こういうものを作るのは。

堂本 全く密室ですものね。なにが行なわれているか、国会ならまだ記者だつて入れるし、誰だつて行けてオープンだ、あそこだけは密室ですもの。

齋藤 子どものころ、うる覚えに覚えていたのだけど、西園寺公望みたいな人が出てきて首相なんかを決めるわけでしょう。西園寺公望の上に天皇をちらつかせつつ決めてたわけですね。

増田 馴れ合いも馴れ合いね。ほんとに大人の悪知恵のあらゆるものが凝集されているのよね。人間社会はこういうものは絶対に作っちゃいけないのね。悪魔の仕掛けなんだから。こういうものがあつたら便利だつていうのはわかる。だけどそれはやったらいけない。原爆みたいなものじゃないかなと思う。人間は作っちゃ

やいけないものがあるんですね。それを作ってしまったところが世界中の悲劇なんです。日本だけじゃないんですよ。世界が迷惑をこうむっているのだから、こういうものは早くやめたいでしょう。

齋藤 たしかに、天皇の軍隊でなければあそこまでやれなかったでしょうね。

国民も無意識に 天皇を利用したのは

増田 敗戦のときに、アメリカはものすごく怖れた。で、日本をスムーズに治めるにはやっぱり天皇を利用しようということになった。薩長の次に利用したのがアメリカなんです。

齋藤 でも、あの時、天皇を殺してたら、日本人は一滴でも血の繋がった人を担いで復讐をやったと思うわ。

駒野 すぐに新天皇を擁立してね。そういう勢力はあったらと思うわ。

齋藤 どうかの山の中の百姓の子どもか

なんか身を隠してでも、必ず……ね。増田 いろいろ調べてみると、ソ連があの時、日本をすぐもらいたがっていたというのでアメリカはとても怖れた。とにかく天皇の力でもって敗戦——終戦をうまくやろうという、ソ連封じ込めなんです。一つは。

堂本 ソ連の宣戦布告なんて敗戦のごく間際になってでしょう。

齋藤 ただ、この頃思うんだけど国民も天皇を利用してたんじゃないかしら。

増田 だけど、されたほうが量的に多いですよ。

齋藤 もちろんたくさん利用もされたけれど、利用もしたと思いますよ。いろいろな面で。そのところをそれぞれの自分に問い直していかなかったら、この問題は不毛になるんじゃない。

堂本 利用というのは具体的にはどういうことですか。

齋藤 たとえば、聖戦、っていう言葉で呼ばれたときに戦争のことをつきつめて考えないとか。自分が考えていることを

自分に問い返すのはエンドレスの問いだから、自分がものすごく苦しまわなければならない。そこを放棄して支持した。国民の支持がなかったら続くわけではない。

駒野 南京陥落のときには提燈行列をみんなやっただし、シンガポールが陥落したときにはみんな大喜びで走り回ったんだから。

齋藤 天皇の名で行なわれていることを知る機構もなかったし、知る教育もされてなかったけど、それを知ろうとしなかった。

駒野 勝った、勝った、と言っているしよに喜んだということは、戦争責任があったんですよ。知らないからといって……。

齋藤 知らないっていうことが犯罪的なことだ、ということを知らなかった……。そういうことをやっぱり自分に問い返さなければ。堂本さんがこの二日間はずっと前からの蓄積だとおっしゃったのと同じように、私は私自身の無責任さと繋がらんじゃないか、と思ったんです。

大島 今、天皇制の問題のほかにも形

を変えているんことが目の前にあるんだけど、それに対して対応していない私たちという問題があるでしょう。垣間見ているのね。けどやっぱり対応してなければ流れていってしまう。

駒野 長いものに巻かれちゃっているということは、天皇制に寄りかかっているのと同じなんだと思う。

斎藤 隣が怖いという意識、そこを変えない限り、天皇制を壊してもまた、同じ新天皇制、新新天皇制が作られていくんじゃない。

増田 自分の中に天皇制を作っていくんだ。

駒野 ただ、増田さんがおっしゃったように、在るからつい寄りかかりたくなるんですね。野原に木があるから、その下蔭に入りたいようにね。なんにもなければしょうがないから晒されていたと思うわ。

増田 そして自分たちのシステムを作り出したと思う。そのときにやっぱり民主

主義というものは自ずから必要になっていったと思うわ。頼るものがないんだから、あの人の知恵もほしい、この人の考えもきかなくちゃいかなというところで、のずから民主主義が芽生えて機能するんだと私は思う。「一夫一妻の君」を作った民主主義は絶対に育たない。人間も絶対に人間になり得ないと思う。

国民に人権意識が確立した時 王も無害になる

駒野 いまヨーロッパで王室が残っているところ、ノルウェーやオランダやデンマークの場合は、そのまま温存しているわけですか。

堂本 温存はしているけれど、権限もなんにもない。

駒野 自分たちが主権者であって、王室っていうものがいつかの時点で昔の王宮と違う王室になったという自覚がありますか。

堂本 ノルウェーの人たちですか。それ

は私にはわからないです。

斎藤 コペンハーゲンに行ったとき、デンマークの王様が現代でもすごい力を持っているなあと思った話を聞いたんです。

デンマークがあんまり気持ちのいい国なのでどうしてこんなに気持ちがいいんでしょうね、と言ったら、こういう話をしてくれたの。この国は第二次大戦でドイツに蹂躪された。だけど、ユダヤ人は一人もつかまらなかった。なぜかっていうと、ドイツ軍が来て、「ユダヤ人に「ダビデの星」をつけろ」って国王に真ッ先に言ったんですって。国王は「承知しました」って言って、翌日、まず自分の胸につけた。それでみんなも自分の胸につけたんですって。

堂本 面白い話ね。

斎藤 その時は私はすごく感動したんだけど、だんだん今の天皇制と結びつけたとき、国王の力という意味ではわからなくなりましたか……。

増田 その国王はものすごく民主主義者なんですわね。日本の天皇が民主主義的

だったことがいつあるんだろう。

駒野 でも、ドイツ軍がそういうことを国王に相談するほど権力があつたんですね。

斎藤 デンマークの王様は、ハムレットの時代はすごい権力を持っていたけれど、今や、実質的には何もありませんね。お城なんて小さいお城ですものね。そういう中に閉じこめられていて、まさに象徴という感じなんです、だけどやっぱり国王がなにかやっていた時に国民が見習うという意味でのデイグニティは持つてるのね。

駒野 王の行為自体がすばらしいことだったから許されるってことなのかな。

増田 率先してユダヤ人を殺そうものならどうしようもないけれど。

斎藤 ポーランドであれだけユダヤ人がつかまったのは、ポーランド自身がユダヤ人差別をしていたのね、歴史的に。だから何かが起こる時には、やっぱりその土壌があるんじゃないかしら。デンマークの場合は国王も偉かつたけれど、そ

こについていける国民が……。

駒野 デンマークはやっぱ人権意識の強いところですよ。

堂本 いま、人権センターがあるのが、デンマークとノルウェーとあとどこか三つか四つしかないって聞きました。この間、私が初めてノルウェーに行ったら、ノルウェーの人権センターより、デンマークの人権センターのほうが歴史が長いんですって。いかにデンマークが立派かっていう話をノルウェーで聞いたの。人権意識があるということが、王様がダビデの星をさつと胸につけるのに非常によく現れてる。ノルウェーでも、王様のことは非常に親しみを込めて、誰でもがきょう王様はこうだあだって話はするし、とてもいい人だと言いますね。少なくともいま増田さんがおっしゃったような、こういうものは作るべきでないというそういう枠組のテッペンにいる人じゃない、ということとはよくわかります。そうじゃないとさっきの話のような人権的なものととの整合性が出てこないんです。成立

しないもの。

駒野 デンマークの王様の場合は人権がちゃんと守られているのよ。

堂本 ノルウェーの王様も自分で車を運転してスキーに行ったりして、スキーもできるし、他人の人権も大事だと思ってる。そのところが、日本の土壌と違うわけです。

増田 日本の天皇制は人権否定してできたんだから。

斎藤 そうすると、やっぱり「天皇の人権も大切に」っていうほうが、天皇制を解体できるんじゃない？

駒野 そうしないと国民の人権も大事にされない、と。下の句はそれになるわけ。斎藤 あの最期はお気の毒だけれども、いい死に方をしてくださった。やっぱり国民の中に「ああ、あれはつらいなあ」っていう気持ちを浸透させたもの。

井田 「天皇はご苦労をなさった」ってみんな言うでしょう。ご苦労っていうのは戦争だのなんだの好んで選んだ人生ではないのに、いろんな激動の中で、いろ

んな思いをしてお気の毒に、っていう同情心がかなりあると思うの。だけどそのところをもうちよつと突っ込んでいかないと……。

齋藤 だから二代目にはああいふことはさせたくないね、と。職業の自由もあってほしいし転居の自由もあってほしいし、好きな人と結婚してほしいし、そういうことで内側から解体していかない限り私はこの宗教を解体できないと思うけど。布施 浩宮がなかなか結婚できないのはかわいそうっていうのは、わりと入っていきやすい話題ですね。

大島 誰もあんなところには行きたくない。

井田 しばらく結婚できないでしょう。喪中はもちろん。

堂本 美智子さんの例を見ると、なかなか一般の庶民からはいけないわね。また自分だって同じような思いをするのは目に見えているもの。

増田 ともかくこれから、いろいろ天皇についての情報も出るだろうし、語り合

うチャンスが多くなって私はすごくうれしいの。

堂本 今までは言えなかったものね。

大赦・恩赦は 必ず阻止しよう

齋藤 ところで私たちはまず大赦・恩赦反対をやりませんか。

増田 新聞はすでにみんな大赦反対ですよ。

布施 私たちも大赦反対。

増田 大赦反対で恩赦はうんと狭く、それから元号を見なおせと。

布施 元号を使わないっていうことは、本当にできると思うんですよ。テレビニュースの字幕とか、全部西暦にすればいいんですよね。

齋藤 あれは官公庁もコンピュータで困っているのよ、ほんと。だから案外私たちが言わなくても解体するかもしれない。

井田 元号はやれますね。

齋藤 急を要するのは大赦と恩赦。リクルートやロッキードと結びつけて、マス

メディアの人に書きに書いてもらいたい。

駒野 公明党も言ってるんだから。

堂本 角栄が、なんて、ほんとに許せないわ。

齋藤 いま係争中のものも訴訟にならなくなるっていうでしょう。そうしたらリクルートも駄目になっちゃうって……。

布施 そこまではいくらなんでもやらないと思いますけど、でもちゃんと見てないといけませんね。

駒野 それを新聞が書きたててくれれば、みんなが気づくけど、そうじゃなければ気づかないまま、また、ぞろぞろと……。

齋藤 やれば勝ちだから、権力は恥も外聞もなくやりますよ。平沢貞通は生涯恩赦にしまったのに、佐藤栄作は昔の恩赦でアツというまに不起訴になった。アツというまだったでしょう。

堂本 やっちゃえば勝ちなんですものね。齋藤 パンザーイで終わり。

井田 天皇制の存続論者でも天皇をあん

まり美化しすぎると、これじゃあって思
う人もいるでしょう。そういうところで、
どうやったら向こう側の人を引き寄せられ
るかということをいろいろ考えていく必要
があると思います。

斎藤 漫才師のコントでも書くとか(笑)。
いろんな形でゲリラ的にやらなくっちゃ。
この間の(どくだみ)の歌は非常に面白か
ったですね。

布施 彼女たちにも大赦についても、ちょ
っとコントにしてやってほしいな(そう、
そうの声)。

駒野 女の講談師がいるでしょう。ああい
う人とかね。落語家もいるのよね。

堂本 (PP21)で、天皇がまだ病気の時
にやりましたね。フィリピンの女の子たち
がコントをやったの。面白かった。

駒野 そういうのが集会だけで消えちゃう
のが惜しいですね。電波に乗るような方法

はないかしら。

堂本 私は撮影したんですけど、さすがに
その時はそれは使えなかった。ほんとにコ
ントにしちゃってるんですよ。

♪オラハシンジマツタダーなんて、

斎藤 昔から中国でも日本でも何かあると
俗謡が自然にはやったでしょう。ああいう
ことをやってもいいのね。

増田 都営新宿線の新宿三丁目の駅の名前
を書いてあるところに落書してあったの。

「天皇死ね」って。

布施 マスコミの人が書いたんじゃないで
すか。

一同 それならよくわかる(爆笑)。

増田 珍しい落書だなあとと思って。わりあ
いそういう落書はないでしょう。

堂本 それを撮って出せるかっていうと、
なかなか出せない。それは勇気とか、そう
いう問題じゃない。勇気を持って筆を執る

っていうのと、それを出すっていうのは別
だと思ふのね。でも、それが今のマスメデ
ィアに載せられない、というあたりがおか
しいの。

斎藤 これだけ、民主化されてます、新憲
法です、って言いながらね。

増田 タブーなのね。日本の社会では天皇
の悪口はタブーなのね。

斎藤 とにかくいろいろな形で、いろんな
ものが見えかけてきた。これをどこまでも

考え続けていきませんか。(あごろ)の連
続学習会も、できるだけ友人・知人を誘っ
ていらしてください。

話しても話しても、まだ話したりないこ
とばかりですが、終電車がなくなりそうで
すので、今夜はこの辺で。またいつか「続
編」を話し合いましょう。

(1989年1月10日夜)

2・24 その夜

新宿御苑近いAあごろVの事務所で、しま・ようこさんを囲み、
「自立と天皇」を討論します。6時半〜8時半。ゼヒご参加を!

「~~せす~~を抜く」



毛皮は
物品税 15%
消費税 3%
になるため
値段が下がる!

消費税だ! は オオウソ だった!

前は
たのに
つく
き
て

どうして
こんなに複雑に
なっちゃうわけ!?
やってらんない
会社やめる!

そうね
キツネさん

私たち もと
殺されるように
なるわね
ミンクさん



ミンクとキツネの場合

合

一説によると事務が煩雑になるので
都市銀行など一行で100人増員する
可能性がごまとか。



結婚指輪は 37,500円以下でしょ
だから 今ならまだ無税。今のうちに買って
おくの。 だけど 給米43ヶ月分のダイヤの
指輪は 物品税がかかっているから、
消費税になってからののが得だね。

農業を始めた時は
いろいろわかったけど
税かけられるように
私たちがたいてい
じ物を買わない
としている人が
影響が少なくて
あわね。

それから 出産にも 消費税が
かかるのよ。 ちょと早かったけど
3月に生れる予定で良かったでしょ。
親孝行な子供よね。

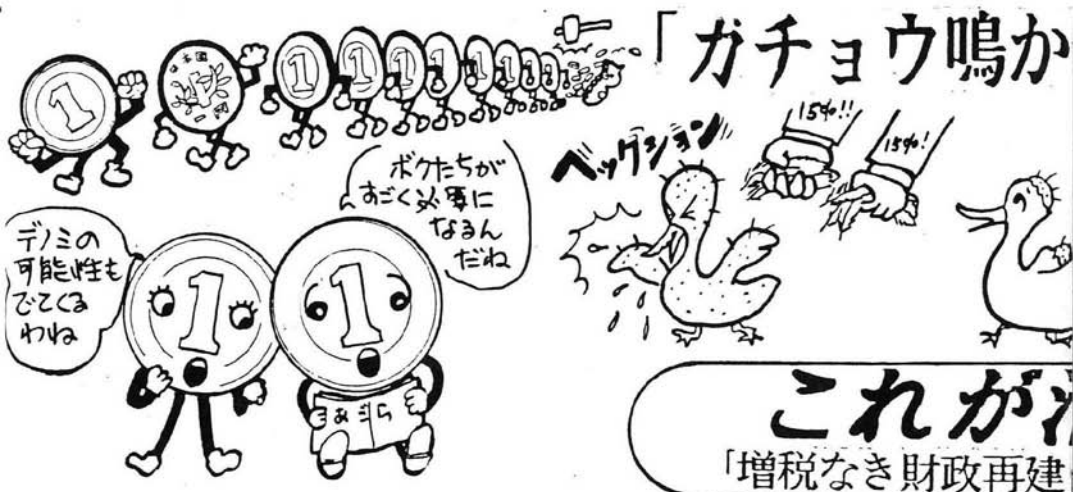
まいったなあ



私って しっかりした
奥さんになるわよ。

あるカップルの場合

帰の場合



これが
「増税なき財政再建」

バンザイ
所得税減税だ



単純ね。これからは
やりがじから 墓石まで
消費税かけられて、
物価は上がるだろうし
税の痛みは判かい
にくくなるわ。



「内助の力」なんて
へたに面くらされて
るから再就職も
しにくいわ。
私の人生
どうしてくれるのよ



この服だ
9,800円
消費税が
10,000円
しもうの
買えないわ

バーゲン大好き嬢の場

夫の年収が900万の夫婦の場合

私たち夫婦のように
どきが入る。子供もスラッ
おと仕事をしていこうという
夫婦は つまみ 増税さる
はうかりで つらい。。

毛皮とか 宝石とか同じく
値段の下がる車なんか
にも ぜんぜん
縁がないわ。

家族という
あり方も一元的に
とらえているわ。
まともな生活も
家に関心があるの？



作者の場合

そうだね 今度は 綿をつまんで
着る物も 自分
たちでやって
みようか。



脱サラして
皆に
消費
なると
ほとん
生活
一番
あ

脱サラ 自給自足生活夫

あいらのあいらのあいらのあいらのあいらのあいら

(年賀状から)

◆昭和が終わろうとしています。自分も含めて、戦争責任を明確にして新たな出発の年としたいものです。

(東京都 近藤悦子)

◆ことを主権元年に！
ことしもがんばって下さい。

(東京 山本千恵)

◆政権交替の年にしたいと思います。
御誌もがんばって下さい。

(東京 名倉昌子)

◆「天皇」マスコミは取り上げてくれませんね。権力をもたない者の連帯だけが支えという時代になりました。ご活躍を！

(東京 相沢ヨシ)

◆脱ゲンパツをどうぞよろしく。

(東京 近藤和子)

◆今年は秋からはっきりしない不可解な風潮が続きました。老人介護はかくありたい：一人ひとりの命の大切さ、人間ら

しく生きること、尽きない課題が投げかけられています。

転職して満六年、目下シルバー雑誌の編集で忙しくしております。歯切れの悪い天皇の病状報道に腹を立てつつ今年も終わりそうです。

(東京 深田範子)



◆世界が大きく動いている中で日本の中枢は金にまみれて、末期症状を呈しているように思えます。政界を浄化するものないも私達の決意一つというつもりで、今年も投票したいと思っています。

(鈴鹿市 山本和子)

◆だんだん悪くなっていく日本、微力なのが情ない。

一月四日～六日NHK12：20初笑いして下さい。(田無市 小林カツ代)

◆この一年もあわただしくなりそうです。婦人問題も、趣きが急転回し始め、仙台でもヤングミセスを中心に活動が目立ち始めています。とはいってもまだ……。均等法の反動というか、均等法時代の現実を冷やかに見る男どもが増えたというのが実感です。どうしたらいいんでしょう？ 再会できる日を楽しみにしております。良い年でありますように！

(仙台市 羽太宣博)

◆昨年は私が所属するA下北半島を愛する会Vの活動に多大なご協力、ほんとうにありがとうございました。

青森県農協中央会会長髙名氏に「核燃反対決議をあげるように」との激励の署名は、最終的に七千人を越え、いまま集

まってきたています。「核燃反対」に寄せ
る並々ならぬ全国民の声というものをひ
しと受け止め、この声を背にした運動を
担っていくことに、身の引き締まる思い
です。

私たちの想いというものが通じたのか、
昨年末12月29日、青森県の農協代表者大
会で「核燃白紙撤回決議」が圧倒的多数
で可決されました。とはいえ、核燃白紙
までにはまだ長い道のりが残されていま
す。

昨年は「反核燃」でバタバタ過ごしま
した。天皇制の問題など、やることの多
さに悲鳴をあげそうになりますが、みな
さんと共にがんばりたいと思います。

(浦和市 大沢統子)

◆グループへの指とまれも三年目に入
り、今年はずっと社会とのかかわりを
持ちたいと、また会報も百二十部以上
にしたいと思っています。

今後ともよろしく願います。

(豊田市 釘宮順子)

◆一九七九年に開いたニコニコ離婚講座

が、昨年10月29日で百回を迎え、約六千
人の参加者の声を代弁する形で「離婚制
度および社会に対する要望と提言」を政
府や関係各機関に提出することができま
した。この要望書は多くの有識者の方々
のご賛同を得られ、マスコミの方々の暖
かいご協力のお陰もあって、広く反響を
呼んでおります。

お陰様で、毎週土曜日に開いております
無料の電話相談「離婚一〇番」も四
年で二千五百件をこえ、多くの方の心の
支えになってきたと自負しております。
子供のための離婚講座や母と子の研修合
宿も軌道に乗っております。

こうした活動を支えるために相変わら
ず走りまわっておりますが、今年は少し
自分の時間を作り、娘とも「ママのいじ
わる」と言われないようにのんびり遊び
たいと思っています。

(現代家族研究所 円より子)

◆私は昨年9月ドイツを旅行し、ヨーロ
ッパのフェミニズムのダイナミズムに触
れ、とくに南北問題に積極的に発言して

いるのを見て大いに励まされました。今
年は、アジア太平洋資料センターがイニ
シアチブをとった「ビーブルズ・ブラン
21世紀」を計画しております。アジア・
第三世界の参加を得て8月に日本のオル
タナティブ・プログラムを創造する一連
の国際会議を開きます。横浜では「女性
と「外交」という二つの会議を準備して
おります。皆様のご協力をお願いいたし
ます。同時に、私は World Council of
Churches が企画する南北問題のプロジェ
クトのメンバーとして、Statement on
Economic Justice の作成に参加します。

昨年、「私の中のアフリカ」を社会思
想社の現代教養文庫で再版いたしました。
反アパルトヘイト運動に役立てていただ
ければ幸いです。また「黒いアフリカ」
(聖文社)、「日本企業の海外進出」
(日本評論社)もそれぞれ増補版を出し
ました。ロンドンの Macmillan 社より共
著「Allies in Apartheid」を出版いた
しました。今年は第三世界論についてま
とまった本を書くつもりでおります。

(横浜市 北沢洋子)

◆皆様元気でよいお年をお迎えのことと存じます。私たちも超多忙な一年を過ぎました。今年は一月末刊行予定の「アンチ・クロワッサン症候群」(社会思想社)が仕事始めになりそうです。わいふも十五周年までがんばります。

(わいふ 田中喜美子)

◆私どもは去る十一月全国総会を開き「生命を選ぶ」という主題の下、向こう三ヶ年の方針をきめ、ひきつづき核のない世界と人権の尊ばれる社会をつくるために力を注ぐことを決意いたしました。なにとぞ 今年もかわらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(日本キリスト教女子青年会)

◆昨年は 当会館の事業運営になにかとご指導ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今年も 職員一同「より魅力ある会館づくり」を目指して更に努力してまいりますので変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

(国立婦人教育会館長 前田瑞枝)

(職員一同)

◆1789年というのは、西洋史を学んだ私にとっては今も忘れられない年号です。昨年夏訪れたパリでは、革命二百年記念祭に向けて至る所工事や修復中でした。公務員も海外旅行が自由にできるようになったおかげで、また西欧世界への関心が湧いてきました。古代ローマの道路やナポレオン道路に関する本を読みながら、次の旅行のチャンスをねらっています。

(熊本市 小堀蘭香)

◆本年も女性の生涯学習とネットワークづくりが大切な課題と考えています。いっそう御指導御支援下さいますようよろしくお願いします。

(大野 曜)

◆昨年は、イラン・イラク戦争も平和の緒につき、国連では第三回軍縮特別会議が開かれました。今年はどんな素晴らしい局面の展開がみられるでしょうか。私たちも平和への努力を続けましょう。

(婦人国際平和と自由連盟日本支部)

(会長 徳末愛子・役員一同)

◆足立区婦人総合センターも十五万人を超す利用があり大わらわの一年でした。本年もよろしくお願い申し上げます。

(春日部市 松田季美子)

◆昨秋、精神科医やケースワーカー、心理学を勉強する若い人たちの研究会に参加させてもらい、とてもいい刺激をうけました。新しい分野に少しずつ手をつけてみようと思っています。

編集部の皆様の御活躍をお祈りします。

(京都 塚崎美和子)

◆昨年共著で「囃む子・できる子・元気な子」(公文教育研究会)「日本人はなぜ長生きするか：健やかな長寿社会を求めて」(同文書院)を出版しました。今年春ウェルネスの本を出す予定です。

「アメリカ食生活革命：バレンタインはチョコよりキスを」(商業界)同様よろしく。健康に恵まれた良い年でありますようお祈り申し上げます。

(東京 砂田 登志子)

◆昨年はシャーロック・ホームズ登場百年記念事業としてのホームズ像を造るの

に駆けまわりました。皆様のご支援をいただいたお蔭で、軽井沢町追分に等身大の野外彫刻を建てることができました。ぜひ一度見て下さい。スイスのマイリンゲンにもホームズの座像ができ、9月の除幕式に招かれたついでに英国にも寄ってきました。ドイルの旧居がホテルになつており、一泊しました。

一念発起、おそまきながらも遂に車の運転免許をどうやら手にいれましたが、夫が十年ぶりに買い替えた新車のプレーリーも可哀そうに今や傷だらけです（人間が無傷でよかった）。

（東京 萩原洋子（東山あかね））
◆地域の福祉やつて居ります。

（横浜市 小林澄子）
◆三人の子育てに追われる毎日ですが、「あごらミニ」は楽しみにしています。皆さんの活躍に刺激をうけています。頑張ってください。

（田無市 高橋洋子）
◆二人の子どもたちが自由の森学園（中学）へ入り、寮に入ったので、二人だけの時間ができたと思いきや、夏休み後に

いろいろ問題があり、行きたくないとのこと。結局12月末で退学となりました。これからの学校教育をいろいろ考えさせられました。私の方は、日本語の講師として、新たに仕事をしたいきそです。

（京都 石川美智子）



◆この年末年始はなんて地味なんでしょう。いつもはお正月なんて家族の結束の再確認をするみたいで好きではないのですが、今年はヘソマガリになって、大いにお正月しようかななどと思ってしまうしました。

（東京 米津知子）
◆東京ではいろいろきついことになってゆくでしょうけれど、どうぞ皆様がんばってください。私達大阪のものは顔はニコニコ心にしっかりバネをもってがんばっ

てゆこうと話合っています。今年の国際婦人デーも47団体共同で北沢洋子さんのアフリカの話を府や市の婦人団体も共にきき皆で考え会うことにきまり私達もはり切っています。私は一九〇九年生れなのできっちり八〇歳になりました。

（豊中市 飯田しづえ）

◆目下「仕事人間」の自分の意にそまぬ「特進コース」の準備なども心ならずせねばならず、余裕なき日々です。

（京都市 北垣 由民子）

◆御茶の水書房から田村俊子以来のカナダ移民史出します。

（八王子市 田村紀雄）

◆いま、日本は、世界一の金持国と呼ばれながら人々は老後や疾病に不安を感じ、消費税の強行導入に税の不公平感を深めています。金権政治は頂点に達し、異常ともいえるリクルート疑獄に国民の政治不信は極まっています。ふるさと熊本の本一清らかな水も汚染の危機にあります。

このままではすまされません。人間の生存環境を大切に政治変革がいそがれます。夏に迎える参議院選挙では、再び理想選挙の灯を掲げ、今度こそ皆様とともに勝利します。どうか智恵とお力をおかし下さい。

（今日から明日へ手をつなぐ県民の会）

紀平てい子

◆寒中のお見舞いを申し上げます。年に一度の近況御報告の度に「早くも又一年」の思いを新たにします。近頃は、異郷での老夫婦二人暮らしを案じてくださる方が多く、本当に有り難く存じますが近所の商店は快く配達してくれますわが家の直ぐ前が病院で、日常の健康管理はもとより、何かあれば何時でも往診して戴けるという、今時願ってもないホームドクターに恵まれておりますので、どうぞ御安心下さい。徒らに長命を願う気持ちは更々ありませんが、生きている限りは出来るだけ自由に暮らしたく、老人世帯でどこまで自立が可能か、その実験をしているような接配です。

最近、私たちの若い友人でジャーナリストの関千枝子さんの近著「この国は恐ろしい国―もう一つの老後―」（農山漁村文化協会刊）を読みました。関さんは、この（豊かな日本）の底辺に現存する母子家庭の、殆ど信じ難いような貧困と、これに対する福祉行政の、これも信じられぬような非道さを鋭く告発しています

が、その同じ国で、一人の人間の葬式に九十三億円の国費を投じて怪しまぬこの国は本当に恐ろしい国だと思いました。

末筆ながら昨年中私たちに寄せられた多くの方々の御厚情に対して心からお礼を申し上げます。その一つ、大学時代に私のアドバイザーグループにいて、卒業旅行を共にした諸君が集まって、萩・津和野の旅に招待してくれました。好天に恵まれて素晴らしい日々でした。腰折れ一首、

若き友らと三十年（みそとせ）ぶりの旅の帰路 車窓の月もフルムーンなり

今日は大寒ですが本当の寒さはこれからでしょう。皆様もどうぞ御自愛下さい。

（仙台市 福島杉夫 美代子）

◆一年という時の経過、父と私の生活の日々はほぼ平穏に流れています。父の健康はやや下降気味、私は超多忙。

一方世の中のすさまじさは言語に絶するものがありますが、人の思いはことばに託して語りつくさねばならぬと存じます。

皆様のご健康を念じます

（京都府 壽岳章子）

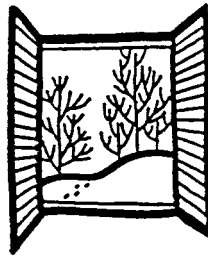
◆明けましておめでとうございます。幸いに健康で楽しく豊かな社会で新年を迎えることができました。大変有り難いことです。母なる自然は、ご親切に我々に恵みを与えて下さっています。その寛大なる自然のおかげで、工業化した国で気楽な生活を過ごすことができます。車もあれば石油もあり、高速道路もゆき先どこでも続いています。水道から十分水も流れます。毎日何度もお風呂に入れます。トイレもきれいに流れます。スイッチを入れるだけで電気製品が全部動きまします。食べ物にも飲み物にも困っていません。

ん。店がしまっていて自動販売機でカンやビンに入れたビール等またはプラスチックに包んだ弁当が手に入ります。紙も山ほどあります。買物を何重にも包んで紙袋に入れてもらえます。それは全部山のようなごみとして捨てられます。朝清掃車が来て運んでいき、目の前から消えていきます。我々の使い捨ての社会は便利で豊かで、誠に恵まれています。

しかしこのような新年をあと何年迎えられるでしょうか。一年、十年、新平成時代に目を開いた幼い子どもが成長するまで？

その質問に答えられるのは神よりほかにはいないでしょう。しかし一つの事実は間違いない。母なる自然が痛んでいます。我々はこの寛大なる母親がいやされるよりさきに急速に襲っています。地球の泣き声を無視して森を略奪したり、山々を平らにしたり、谷をダムで沈めたり、海を埋めたり、湖と川を汚染したり、さまざまな創造物を全滅させながら、我々自身の母なる大地を破壊しています。

緑の館を汚染された空に浮かぶコンクリートの館に交換しています。このように続いていけば、平成の幼い子どもたちの未来は非常に厳しいものになりますでしょう。未来があれば。我々消費者として責任を転嫁することはできません。



我々が当たり前に思っているこの美しい地球を後世に残すために、今すぐにでも我々の態度や習慣を改めなければいけません。これからの子どもたちはこの自然の賜物を受け継ぐ権利があります。彼らもこの恵みを分け合うことができるように、我々一人ひとりにできることがあるはずです。例えば、毎日の生活のなかで次のことをみんなで実行したらいいと

思います。

(一) 石油や貴重な緑の風景を大切にすること。

これは、環境を破壊する最大の源となっている車なるべく使わないようにすればできます。車が多ければ、多いほど騒音やスモッグや渋滞がひどくなります。そうすればまた、高速道路を増やせばいいということになります。高速道路の影に住みたい人はいないでしょう。

(二) 木から作ったものを節約して使うこと。デパートやマーケットで買物する時、何重もの包装はいらないと言います。買物には軽くて、折りたためるショッピング・バッグを使うこと。包み紙や古いカレンダーは捨てないで、工夫してうまく使しましょう。「わりばし」を使わず、何回も使える箸をバッグや会社の机の引き出しに入れておき、昼食にはそれを使いましょう。

(三) 使っていない時には、電気や電気製品のスイッチを切ること。

(四) 夏にはエアコンの代わりに扇風機

を使い、冬には暖房を弱めにする。省エネに気をつけ、オゾン層を守りましょう。レストランや喫茶店の冷房がききすぎてゐる時は、店の人にそのことをはっきり言えば、いいと思います。

(五) 水を大切に使うこと。水洗トイレの水を二回流するような無駄なことをすれば、美しい谷を埋めてまたダムを作らなければなりません。

(七) オゾン層を破壊するスプレーを使わないようにすること。

(N・ミナイ)

いま 天皇問題を考える

連続討論会のお知らせ

2月24日(金)

あこら「自立の心理学」可能性教室で、しま よう子さんを囲み、「自立と天皇」を討論します。PM 6:30-8:30
あこら読書室 ¥500

3月30日(木)

加納実紀代さん「女性と天皇制」(金銭後史研究家)

PM 6:30-9:00 ¥800

新宿区立婦人情報センター

4月21日(金)

高山妙子さん(画家)

「日本とドイツ
—その戦争責任について—」

スライド「海の記憶」上映

5月、6月も講師が決まっています

(すきま)

(編集後記)

★新年号に引き続き緊急AGORA ZEINを掲載します。約五時間の座談会はとても白熱して、語る楽しみ、聞く楽しみを満きつさせてくれました。

(H)

★二月九日の「あこら学習会」天皇の法的地位」の記録が、じきに出来上がります。一、二月号の天皇問題緊急座談会と考え合わせて、今、みんなで語り合いませんか。(E)
★二か月続けての「天皇」。重すぎるかと思ひながらあえて重い球を投げました。反論をお待ちしています。三月号は九州V。乞ひ期待!(R)

表紙・野原 まさこ